

平成 26 年度 学生海外派遣事業

姉妹都市（レイクランド市）親善訪問団報告書

平成 26 年 8 月 8 日～ 21 日



Imabari City International Exchange Association

今治市国際交流協会

もくじ

Contents

1	目次
2 ～ 5	行程 Agenda
6 ～ 11	引率者感想文 Impressions of Chaperons
12 ～ 35	生徒感想文 Impressions of Students
36	訪問団名簿 Name List
巻末	レイクランド警察署ブログ LPD News Blog レイクランド地図 Lakeland Map

姉妹都市（レイクランド市）親善訪問 2014 行程表

8月8日（金）

（日本時間）	7:20 AM	今治市役所集合
Japan Time	7:30	今治発 Depart Imabari
	9:55	松山空港発 ANA#584 Depart Matsuyama
	12:00 PM	羽田空港発（リムジンバス）
	15:50	成田空港発 UA#838 Depart Narita Airport
.....		
（現地時間）	9:25 AM	サンフランシスコ空港着 Arrive San Francisco
Local Time	11:00	市内視察 sightseeing tour (チャイナタウン、フィッシャーマンズ ワーフ、ツインピークス etc.)



8月9日（土）

10:10 AM	サンフランシスコ空港発 UA#1201
18:30 PM	オーランド空港着 Arrive Orlando
21:00	歓迎セレモニー Meeting and Welcome ホストの歓迎を受ける 各ホストファミリー宅へ Travel to host family homes



8月10日（日）

	ホストファミリーデー Host Family Day 終日ホストと共に 15:00 PM ハリーズにて夕食 / オプショナル 17:00 ボウリング / オプショナル
--	---

8月11日（月）

8:30 AM	レイクランド市役所 表敬訪問 Welcome/City/Council chambers
10:00	レイクランド警察署訪問 Lakeland Police Department
11:30	パレスピザにて昼食 Lunch at Palace Pizza
14:00 PM	フロリダサザンカレッジ見学 Florida Southern College Tour
18:00	歓迎パーティ Welcome Party



8月12日（火）

- 8:30 AM ディズニーランドへ出発
Drive to Disney
- 10:00 ディズニーランド入場
Enter Magic Kingdom, Disney
- 21:00 PM パレード見学
Electric Parade
- 22:00 花火見学
Fireworks
- 24:00 ホスト宅へ
Arrive / Pick-up by families



8月13日（水）

- 7:30AM 集合
- 10:30 ケネディ・スペースセンター見学
Kennedy Space Center
- 15:15PM マギー邸（海の家）訪問
Arrive at McGee's condo
Beach & Picnic
- 17:10 マギー邸から出発
Depart McGee's condo
- 21:00 各ホストファミリー宅へ
Arrive/Pick-up by families



8月14日（木）

- 8:30 AM 消防署見学
Lakeland Fire Department
- 10:00 ホリスガーデン散策
ダウンタウンでショッピング
Hollis Gardens / Downtown shopping
- 12:00 PM Catapult（起業家支援センター）
Entrepreneur Support Center
- 14:00 カモの餌やり体験（モートン湖）
Feeding ducks at Lake Morton
- 13:30 ポーク美術館見学
Polk Museum Tour



8月15日 (金)

- 9:00 AM こども博物館訪問
Explorations V Children's Museum
- 10:15 インターナショナルマーケット見学
Flea Market
- 11:45 キワニス・クラブ訪問
Kiwanis Club
- バドワイザー流通倉庫見学
Bernie Little Budweiser Plant Tour
- 15:00 PM アウトレットモールショッピング
Outlet Mall Shopping



8月16日 (土)

- 8:00 AM ホストの車でビーチへ
Families drive to Beach
- 10:00 ビーチでの一日
Picnic at the Beach & activities
- フォート・デソト・パーク到着
Arrive at Fort DeSoto State Park
- 18:00PM フォート・デソト・パーク出発
Leave Fort DeSoto State Park
- 20:00 ホストファミリーと過ごす
Evening with families



8月17日 (日)

- 9:30 AM フロリダ水族館見学
Florida Aquarium
- 14:30 PM トロピカーナフィールド球場 Tropicana Field
(タンパベイレイズ対ニューヨークヤンキース)
Tampa Bay Rays vs. New York Yankees
- 17:00 野球場発 / レイクランドへ戻る
leave / return to Lakeland
- 18:30 ホスト出迎え
pick-up by families
- 夕食: Ling's Buffet / オプショナル



8月18日(月)

8:30AM セントジョセフアカデミー訪問
St. Joseph's Academy
11:50AM スクールランチ体験
School lunch
13:30 パブリクス社見学
Publix Tour
16:00 ホスト宅へ
Pick-up by families



8月19日(火)

9:00 AM ハリソン美術・舞台芸術センター
Harrison Center for Visual & Performance Arts
9:30 アートワークショップ参加
Art work shop
12:00 PM 昼食 lunch
12:30 ショッピング
Shopping at Lakeland Village
16:00 ランファー邸到着 BBQ お別れパーティ
Farewell Party at Lampher Residence



8月20日(水)

4:00 AM サンタフェハイスクール集合
Drop-Off at Santa Fe School
7:00 オーランド空港発 UA#1645
Depart Orlando Airport
10:05 サンフランシスコ空港発 UA#837
Depart San Francisco



(日本時間)

Japan time

14:10 PM 成田空港着
15:35 PM 成田空港発(リムジンバス)

8月21日(木)

Leave Narita Airport
18:55 PM 羽田空港発 #NH599
Leave Haneda Airport
20:25 松山空港着
Arrive Matsuyama Airport
22:15 今治市役所着
Arrive Imabari City Office



2014 年 姉妹都市レイクランドを訪問して

今治市役所 納税課

豊嶋 康二

今回、8月8日から21日にかけて、訪問団の団長としてレイクランドを訪問させていただきました。長いようで短い2週間、それはあっという間に過ぎ去った文字通り夢の様な時間でした。

事の起ころは市役所内でのレイクランド派遣職員公募に申し込んだことです。元々語学や異文化交流に興味を持っていたため、この話を聞いた時すぐに手を上げました。幸運にも派遣職員に選ばれたものの、アメリカを訪れるのは初めてであり、出発前には多少の不安もありました。しかしその不安は、レイクランド到着後姉妹都市委員会とホストファミリーの方々に温かく迎え入れていただいたことで、すぐに消えてしまいました。

私のホストファミリーになってくださったのは、マギーさんとバーブランクさんという二つのご家庭でした。一軒目のマイクさん、キャシーさんにはホームステイ以外でも別荘を使わせていただくなど、様々な面でお世話になりました。ステイ中にタンパ観光をしたこと、教会でのミサに連れていってくださったこと、ご家族の方と一緒にワニ料理、ナマズ料理を味わったことなどを今でも鮮明に思い出します。マギーさんご夫妻は今治に訪れたことがあるとのことで、訪問時のお話もいくつか聞かせていただき、両市の長年にわたる交流が垣間見えたようで嬉しくなりました。

二軒目はジムさんとローラさんのお宅です。ジムさんはゴルフがお好きとのことで、ゴルフクラブへ連れて行っていただきゴルフ用のシャツをいただいたほか、クラブ併設のレストランでごちそうをしていただきました。私も機会を見つけてゴルフに挑戦出来ればと思っています。学校の先生をされているというローラさんは、英語に不慣れな私に様々なことを教えてくださいました。料理もお上手で、ステーキを焼いてくださったほか、私のためにわざわざお米まで炊いてくださいました。これら

の優しいお心遣いのおかげで、ステイ全体を通して快適に過ごすことができました。本当に感謝しています。

レイクランド滞在中は様々な場所を訪れ、多くの人と交流を持ちました。市庁舎ではハワード市長に面会しご挨拶をさせて頂いたほか、高校生たちも各所で英語での挨拶やスピーチを堂々で行い、剣道や習字、折り紙といった日本文化を紹介するなど、団員として立派に活動してくれました。訪問当初こそ緊張していたものの、現地の人々と触れ合うことでその緊張も徐々に解け、心と心の交流ができたものと思います。ただの旅行では持つことの出来ないこのような人と人の深い関わりは、団員たちにとっても貴重な経験となったことでしょう。今後はこの経験を活かし、英語の勉強はもちろんのこと、異文化交流をはじめさまざまなことに積極的に挑戦する、国際的な視点を持った日本人として活躍してくれるものと期待しています。

この訪問で強く印象に残っているのは、見渡す限りどこまでも続いていく地平線、大きな空を赤く染める夕焼け、美しい湖や鳥達など、フロリダの雄大な自然です。日本とは全く違う大陸の風景には非常に感動させられました。しかし、それ以上に心に残っていることがあります。それは、レイクランドで出会った優しい人々です。皆さんとレイクランドで過ごしたこの夏を、生涯忘れることはないでしょう。

最後になりましたが、滞在中にお世話をさせていただいたレイクランド姉妹都市委員会とホストファミリーの皆様、並びに今治市役所と国際交流協会の皆様にあらためてお礼申し上げます。来年は姉妹都市協定締結から20年となります。多くの方に今治を訪れていただき、20周年を共に祝いすることを楽しみにしています。私も精一杯のおもてなしをして、恩返しが出来ればと思っています。



Visit Sister City, Lakeland in 2014

Imabari City Office Tax Division
Koji Toyoshima

I headed a delegation and visited Lakeland from August 8th to 21st. Two weeks seem long but short. I had a fleeting, but a dreamy time there.

The first thing that happened that I applied for the dispatch to Lakeland among city workers. I have been interested in foreign languages and a cross-cultural exchange. I applied for it on hearing of the dispatch. Fortunately I was chosen as a member but it was my first visit to the U.S. and I had been anxious before leaving Japan. When I arrived in Lakeland, however, a warm welcome of Sister City Council and my host families wiped out my worries.

I had two host families: McGee family and Verplanck family. Mike and Kathy, Mr. and Mrs. McGee, invited me to their cottage. I would like to thank them for the hospitality. I can recall my days with them in vivid details: sightseeing around Tampa, Mass at church, eating a crocodile dish and a catfish dish. They have been to Imabari and told me the story during their visit. I was glad to glance into a longstanding interaction between two cities.

Jim and Laura, Mr. and Mrs. Verplanck, were also welcoming. Jim, who likes golf, took me the golf club, gave me a golfing shirt and treated me at the restaurant. I hope to have a chance to try golf. Laura, who is a teacher, taught a lot of things to me who wasn't good at English. She was a great cook: She grilled a steak and in addition she took time to cook rice for me. Their courteous attention made me feel at home and I had a comfortable time there. I'd like

to extend my deepest appreciation to them. During my stay in Lakeland, I had contact with a lot of people. I met with Mayor Howard at the city hall. Students performed their job as a member of the delegate: delivering a speech in English in state and introducing Japanese cultures such as kendo, calligraphy and origami. At first they were nervous, however, the interaction with people in Lakeland helped relieve their tension. Students could fully enjoy open communication. Having a deep relationship like this gave them a valuable experience. I expect that the students will try various things like cross-cultural exchange, let alone studying English by making use of this experience to thrive as a Japanese with international perspective. I was strongly impressed with the grandeur of nature in Florida: the endless horizon, the lurid sunset, a beautiful lake, birds and so on. The continental scenery which is far from the one of Japan played on my heart strings. Furthermore, what I remember best is kind people in Lakeland. The memories of this summer will last a lifetime.

Finally I would like to thank to everyone involved: Sister City Council in Lakeland, host families, Imabari City Office and ICIEA. This sister-city relationship will have its 20th anniversary next year. I'm looking forward to welcoming many people in Imabari to commemorate the 20th anniversary together. I'd like to give the very best service I can in gratitude for all the help I've got.



レイクランド訪問を終えて

笹間 佐和子

今治からはるばるレイクランドへ。到着したその日、温かく迎えてくださったレイクランドの皆さんの笑顔に、訪問団メンバーの緊張や不安、疲れはさっと洗い流されたかのようでした。今治にお越しくくださった方、レイクランドでお世話になった方など、以前より交流活動にご協力くださっていた懐かしい皆さんに再会できたことはとても嬉しく、また新しく参加してくださったご家庭の皆さんに多く出会えたことも大きな喜びでした。

今回は二度目ということで、ずっとリラックスして臨むことができたためか、前回にも増してレイクランドの皆さんの親切、お心遣いのひとつひとつに気づき、感謝する機会が多かったように思います。

なにより、わたしたち訪問団のために組んでくださったスケジュールはとても充実していました。レイクランドの皆さんの大変なご準備、ご尽力があったことは想像に難くありません。

まずレイクランド市長はじめ、皆さんにお時間を取っていただき、多くのレイクランド姉妹都市委員会の皆さんと一緒に、訪問団として正式にご挨拶する場を設けていただきました。大変光栄なことに感謝しています。

高校生対象の教育的プログラムとして警察署や消防署の見学も用意してくださっていました。説明を受けながら、署内のあらゆるところを見学させて頂くという体験は通常はできないことです。ドラマや映画で目にした場所へ実際にお邪魔して色々なお話をうかがうことは興味深く、貴重な学習の機会でした。

ポーク美術館では、より興味を持って作品を鑑賞する方法をいくつも提示していただきました。作品をあらゆる角度から楽しむ、好きな作品を選んで理由を考える、古代の調度品についてのクイズに答える、といったものですが、アメリカの子どもたちへの教育プログラムを体験できたことは高校生にとっても良い機会でした。

教育といえば、学校訪問はこの旅のハイライトのひ

とつではないかと思っています。今回はセント・ジョセフ・アカデミーとハリソン芸術高校を訪問させていただきました。セント・ジョセフ・アカデミーには幼稚園児から中学生までが在籍する学校で、高校生は一緒に折り紙を楽しんだり、漢字を書いたりして楽しい時間を過ごしながら、アメリカの学校、クラスルームの雰囲気を経験することができました。また、ハリソン芸術高校では生徒の能力を伸ばすためのあらゆる設備が校内に用意されているのですが、施設見学ではその充実ぶりには目を見張りました。見学後の絵画のクラスでは日米の生徒が協力してひとつの作品を仕上げるワークショップも行われ、ホストファミリー以外の高校生と触れ合う貴重な機会となりました。

この他にもディズニーワールドやケネディスペースセンター、メジャーリーグなども体験し、アメリカ文化を満喫できるようスケジュールを組んでいただいております。

このホームステイが実現し、充実した2週間を過ごせたのは責任者のパム・ガザレリさん及び関係者の方々のご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。また、お宅を開放してパーティをしてくださったマギーご夫妻、ランファーご夫妻、そして滞在中いつもお力添えくださっていたトム・パーマーさん、困ったときに助けてくださったキャロル・デモヤさん、リズ・パーマーさん、スーザン・ラブリーさんには大変感謝しております。

最後になりましたが、私をお宅に迎え入れ、リラックスして楽しめるよう常に気にかけてくださったベティ・レイモンドさん、スー&ケン・ホーソンご夫妻、本当にありがとうございました。

来年は姉妹都市提携20周年の記念の年です。今治でたくさんのレイクランドの方々と一緒に祝えることを今から心待ちにしております。これからも、この素晴らしい交流が長く続きますように。



Thoughts on Lakeland after the trip

Sawako Sasama

We traveled a long way from Imabari to Lakeland. On the day we arrived, all the members of the program were nervous, anxious or tired. However, these feelings were all washed away by the warm welcome of the people in Lakeland. There were people who had visited Imabari before, and those who had taken care of us in Lakeland in earlier trips. They had been helping us with this program and seeing old friends again made me extremely happy.

It was my second visit to Lakeland, and so I was much more relaxed this time. Even more than before, I realized how generous the people of Lakeland were, and I appreciated that sense of kindness every time I noticed it. I was able to find so many more reasons to thank them for everything.

Above all, the schedule they made for us was very engaging. I cannot imagine how much time they spent and how hard they worked to organize everything.

First of all, we were given an opportunity to officially greet the mayor in Lakeland, as well as many other people. I would like to thank them for their time, as well as the members of the sister city committee who went along and helped us. I deeply appreciated such an honorable event.

Moreover, they prepared educational events for the high school students such as visiting the police station and the fire station. Having tours of the buildings and listening to the guides was a special experience. It was interesting to hear their explanations and to actually visit the places that looked like the ones that I had seen in TV dramas and movies.

At the Polk Museum of Art, we learned many ways to get interested in and enjoy art work: the way to observe a work from a different point of view, and the way to choose which works we like and think about why we like them. We also tried to answer quizzes they had about ancient equipments and tools. It was a great opportunity for our high school students to participate in the actual program that children in America experience.

Speaking of education, I consider the school visit

to be one of the highlights of this trip. This time, we visited St. Joseph Academy and the Harrison School for the Arts. St. Joseph Academy teaches students from kindergarten up to junior high school. Our high school students had an enjoyable time doing origami and writing Kanji with them. As they were playing with the local children, they could also experience the American school system and its classroom atmosphere. At the Harrison School for the Arts, they have many kinds of equipment to improve the students' abilities. The amount of equipment and its quality was very impressive. In the art class after the tour, there was a workshop in which both American and Japanese students could cooperate and create one piece of artwork together. That gave our students a chance to communicate with local students outside of their host family.

In addition to all the events above, there were trips to Walt Disney World and the Kennedy Space Center. We also watched a major league baseball game. It was all carefully planned to allow us to enjoy every aspect of American culture.

I would like to thank again Mr. Pam Gazarelli, the Imabari Chair, in addition to thanking all the other staff for this program. It's all thanks to them that we could carry out the home stay program and spend a very satisfying two weeks in America. Thank you very much.

Furthermore, I would like to thank Mr. and Mrs. McGee for the open house party; Mr. and Mrs. Lampher; Mr. Tom Palmer, who helped us all the time during our visit; Ms. Carol DeMoya, who also helped us whenever we had some trouble; Ms. Elizabeth Palmer; and Ms. Suzanne Lovely.

Finally, I would like to thank Ms. Beatty Raymond, Mr. Ken, and Mrs. Sue Hawthorne, who welcomed me to their house and made me feel at home.

It will be the twentieth anniversary of the Lakeland-Imabari international exchange program. I am looking forward to celebrating the anniversary with people from Lakeland in Imabari. I hope this wonderful program lasts for a long time.



レイクランドの思い出

柳原 美智恵

日本を出発してから、10時間。4700マイル、サンフランシスコでの一泊を経て、オーランド空港へ到着。笑顔とハグで迎えられ、サンタフェ高校が提供してくれるスクールバスで、これから始まる高校生たちの夢や希望を乗せて、ホストファミリーの待つレイクランドにむかいました。

サンタフェ高校のホールで、いつも温かく迎えてくださるホストの方達の笑顔と出会いました。ホストファミリーをするのが2度目、3度目の方もいれば、初めての方もいらっしゃいます。それにしても、なんて素敵な笑顔なのでしょう。最初は緊張気味だった高校生たちも、食事が終わる頃には、少しうちとけて、それぞれの家庭へと帰って行きました。沢山良い経験が出来ますように。元気で過ごせますように。祈るような気持ちで、彼らを見送りました。

別名雷の首都とも呼ばれるセントラルフロリダに位置するレイクランド。頻繁に落雷があり、日々、天候の洗礼を受けました。しかしながら、それが天然のクーラーの役割を果たし、慣れてくると、快適に過ごす事が出来ました。レイクランドは、その名のとおり沢山の湖が点在する美しい街です。学生たちのために、日程は綿密に企画されており、小中学校、芸術学校訪問、市庁舎、警察署、美術館、起業家のための支援施設、企業、庭園、消防署、ボランティア団体訪問など盛りだくさんでした。その中に、湖畔で、餌やりがありました。童心にかえって、緑の美しい湖畔で、白鳥、朱鷺、コウノトリに餌やりです。遠くから走ってくる鳥たちの様子は圧巻！でした。学生たちを国際人に育てることが目的のツアーですが、ちょっとした息抜きにも細かな配慮が伺われます。

さて、滞在先、今回は、ガザレリ家に2泊。あとは、モリソン家に滞在。モリソン家の長男アダム君は、2度、姉妹都市交流で、今治を訪問したことがあり、また、今治の訪問団がレイクランド滞在中は率先して案内をし、日本人の高校生たちと、現地の高校生たちが一緒に行動

できるようにと、いつもいろいろ心配りをしてくれたとても素敵な子でした。残念なことに、一昨年、病気のため帰らぬ人となりました。けれども、アダムと交流をした高校生たちは、やがて大学生となり、今年春には、4名の大学生たちが、モリソン家を訪れたそうです。彼の人柄が偲ばれます。今回、アダムの車は、ツアーの移動用にと貸し出されていました。背が高く、屈託のない笑顔、冗談好きのアダムは今も、今治のみんなと一緒にいました。私的にちょっと面白体験は、リン・モリソンさんのご友人の集まる“ママ友会”。洋の東西を問わず、美味しいお食事とおしゃべりは最高です。

いつも、素敵なお宅をパーティのために提供してくださるマギーさん、ランファーさん。ありがとうございました。姉妹都市委員長のパム・ガザレリさん御夫妻、かつていいムスタングで颯爽と現れるサラ・ホーソンさん。お話から沢山の事を学びました。感謝です。ダイナ・ケリーさん、ジム・バープランクさん、色々とお心遣いを有難うございました。今ではわが子のようになったリチャード。ありがとう。また関係者の皆様のおかげで、私たちの訪問は、本当に大変充実したものになりました。

縁があって、小さな草の根から始まった姉妹都市交流が、19年の時を経て、確実に根付き、レイクランドの人々との絆、友情の花を咲かせています。その中でかけがえのない経験を得た高校生は、将来を担う逞しい存在です。彼らは、この訪問で得た多くの体験を糧に夢の実現に向かって進んで行くことだと信じています。もし、引率として、そのお手伝いが少しでも出来たのだとしたら、これほど光栄なことはありません。

最後になりましたが、このように有意義な機会を与えて頂いた今治市そして今治市国際交流協会に厚くお礼を申し上げますと共に、来年20周年を、レイクランドから沢山の皆様をお迎えしてお祝いできますことを心から願っております。



Memory of Lakeland

Michie Yanagihara

After a 10-hour flight from Narita, we arrived in San Francisco, which is located 4700 miles away from Japan. An overnight stop there, and we then flew to Orlando. At the airport, big smiles and familiar faces welcomed us. A one-hour ride on the Santa Fe Catholic High school bus “Crimson Eagle” took us to Lakeland.

At the matching ceremony, I could see all their smiles again. First our students seemed to be a little nervous, but accordingly they started to loosen up. Then our group broke up to stay with the host families. I remember the students’ worried looks and awkward manners. As one of the three chaperones, I had a big responsibility. I strongly expected that they would get along with their new or strange experiences.

Lakeland, located in Central Florida, is called the capital of lightning. We experienced lightning and lightning storms, however, they worked as a natural air conditioner and we could have a comfortable stay. Lakeland is a very beautiful city with a lot of lakes and scenic beauty. Due to the well-organized schedule which included a downtown Lakeland walk, Hollis Gardens, greeting with the Mayor, LDP, elementary school, junior high school, school of art, and special session at the Polk Museum etc., we had surprisingly productive days. Without the people who generously devoted themselves to our trip, it would not have worked out. We also enjoyed feeding the birds. At the beautiful lakeside, on seeing us feeding, a swan, ibis and stork rushed toward us. The most important goal of this tour was to inspire students to be internationally- minded, but the whole schedule was organized so meticulously even short breaks like this were planned.

I stayed with the Gazarellis for two nights and moved to the Morrisons. Adam was the oldest son of the Morrisons and it was very sad that he passed away two years ago. He had visited Imabari twice as a member of the sister city exchange group and during Lakeland visits, he used to attend and take good care of us. I personally knew him and he was very cheerful, funny and bright. I heard that four Japanese university students, who were members of sister city exchange program in 2010, visited and spent time with

the Morrisons last April so that they could commemorate Adam. They’ve surely established cross-border feelings. Mr. and Mrs. Morrison lent Adam’s car and it helped our trip. It made us feel like he was there helping us. The tall, funny, jokester Adam was always with us during this tour.

I myself have a great impression of the people in Lakeland. I was lucky to have a chance to join a girls’ night. The party was held at Lynne Morrison’s longtime best friend’s house. The ladies I met there were surprisingly capable, working full-time or part-time, bringing up kids, taking good care of the house, volunteering and traveling. I enjoyed a fantastic night with them, talking and eating together.

Mr. and Mrs. McGee, and Mr. & Mrs. Lampher, we really appreciate your generosity to provide your place for our party. Phill and Pam Gazarelli, thank you for your hard work and nice arrangement. Mustang driver Sue Hauthon, your stories are very informative and I learned a lot. Dana Kelly, Mr. Jim Verplanck, thank you for giving us amazing opportunities. Richard, thank you. All the people involved in this project, without you, we could not have experienced such a wonderful time. This tour was the very best tour I’ve ever had. I’m sure our students have been motivated by this marvelous experience and will never forget those experiences given by the people of Lakeland. The students will become wonderful bearers of Japan in the future. I believe that they will keep going to realize their dream inspired by a lot of precious experiences during this trip. As one of the three chaperones, if I could help them, even a little it would be the greatest honor and make me the most happy.

I’ve learned that this sister city program began with a tiny grassroots exchange. Nineteen years have passed, and it has strong roots now and we have surely developed blossoms of bond and friendship between two cities

Lastly, I cannot tell thank you enough to Imabari city and ICIEA (Imabari City International Exchange Association) for giving me such a wonderful opportunity and I’m looking forward to celebrating the 20th anniversary of sister cities with a lot of guests and friends from Lakeland.



将来に繋げる ～レイクランドでの日々～

矢野 美貴子

「将来日本と海外の交流を深めることができる仕事に携わりたい、そのためにホームステイをして自分の英語の会話力やコミュニケーションなど夢を実現するための基盤をつくりたい。」学校でのレイクランド訪問選考会で私が言った志望動機です。今までに海外に行ったことは何回もありましたが、ホームステイをしたことは一回もありませんでした。自分の今の実力で海外の人たちと会話できるのか、ちゃんと聞き取れるだろうか、様々な気持ちをかかえて人生初のホームステイに出発しました。

飛行機での長旅の後、レイクランドに着いたのは夜9時をまわっていました。それでも、サンタフェ高校で、私のホストファミリー Stangle 家は温かく迎えてくれました。疲れが結構たまっていたましたが、ホストの人の笑顔を見てふっとびました。Stangle 家に到着して最初に思った事は、「豪邸！！こんな家見たことない。」です。荷物を置こうと自分の部屋に案内されて入ってみると、ホテルにあるような大きくてふわふわしたベッドがあり、ランプもお城にあるようなもので、机に家族写真やホストの子で私と同級生のクラウドディアと、お姉さんのナタリーがかわいらしく写っている写真が置いてありました。こんな部屋で二週間すごすのかと思うと、すごく幸せな気持ちになりました。それから、家を案内してもらいました。シャンデリアが照らすおしゃれなリビングとキッチン、映画ルーム、外にはプール・・・日本でこんな家があったら毎日通いたくなります。

そして次の朝、クラウドディアが作ってくれた朝食を食べ終え、父 Alex の別荘の近くにあるビーチに行きました。行く途中、母 Alicia が私に「ここはショッピングモール、ここは教会・・・」とたくさん教えてくれました。話しかけてくれたおかげで私も積極的に話すことができました。また、私は洋楽を聞くのが好きで、特にワンダイレクションとテイラー・スウィフトが好きです。クラウドディアも好きで、車で曲をかけてくれました。その中で私の好きな曲も流れたので嬉しかったです。そうこうしているうちに、約一時間半別荘に到着しました。そこで初めてお父さんとナタリーに会い、ビーチに行きました。ビーチにしてみると、エメラルドグリーンの、メキシコ湾が一面に広がり、写真でしか見たことのないような風景が目の前にありました。クラウドディアとナタリーと共に泳いだり、海岸を歩いたり、

家族そろって写真をとってもらったりして、充実した時間を過ごすことができました。私はあまり海に泳ぎにいったことがなかったので貴重な体験となりました。そのあとは海を見ながら食事できるレストランに行き、お父さんが写真を撮ることが好きなため、私をビーチ付近の様々な場所に連れていってくれ写真を撮ってくれました。ホストの方の親切な振る舞いに感謝の気持ちでいっぱいになりました。レイクランドに来てから二日目のこのホストファミリーは私にとって一番印象深い思い出です。フロリダの自然の美しさを実際に自分の目で見て体感することができ良かったです。

次の日から、様々なところにサンタフェバスに乗って訪れました。シティホールでは、私がレイクランド市長さんの前で挨拶をし、その後市長さんから手渡しでプレゼントと「Love Lakeland」と書かれたバッジをいただきました。今回の親善訪問で今治市とレイクランドの関係がさらに深まり、これからもよい関係を保つことができたらいいなと思いました。警察署や消防署では、毎日市民の安全のために仕事する姿を見てとてもかっこいいと思いました。実際にパトカーや消防車に乗ることもできました。

ディズニーランドでは友達と一日夢のような時間を過ごし、夜のパレードや花火を楽しみ、ケネディ宇宙スペースセンターでは、映像や展示物でスペースシャトルの歴史を学ぶことができました。ハリソン芸術学校では、実際に美術選択生徒と絵を描き交流を深め、最終日のランファア邸の湖でのウエイクボードや食事会もメンバー全員心から楽しんでいる様子でした。

二週間という短い間でしたが一言では言い表せないほど、私の中で素晴らしい経験となりました。自分の英語力も少しはつき、将来の夢を実現するための基盤を作ることができたと思います。私は、レイクランドにまたこのメンバーで訪れたいと思っています。そのためにまたさらに勉強して、笑顔で再会できるよう頑張りたいと思います。最後に、豊嶋団長をはじめとするこの親善訪問でお世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に私たちに貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

I love Lakeland, thank you for all...



Leading to My Future - Days in Lakeland-

Mikiko Yano

“In the future I would like to do work which promotes exchange activities between Japan and overseas. To achieve my dream, I want to establish a foundation, such as English skills and communication ability while staying with my host family.” This is what I said about my motivation for applying for the Lakeland visit in a screening meeting at school. I have traveled to foreign countries many times, but I have not experienced a home stay yet. I was a bit nervous, wondering if my present listening and conversation skills would be enough to communicate well. With mixed feelings, I left for the home stay for the first time in my life.

After a long flight, we arrived in Lakeland. Although it was late at night, 9 pm, my host family, the Stangles welcomed me at Santa Fe high school. To see their warm, smiling faces, my fatigue disappeared. When I arrived in their house, I was surprised to say to myself, “Wow, what a big house! I have never seen such a nice house!” My room had a big bed and a lamp, which could be in a castle. I was so happy to be able to stay in a nice room for two weeks. They showed me around the house, such as the fashionable living room and the kitchen, the movie room and the pool outside. If the house were in Japan, I would visit there every day.

Next morning, after eating breakfast that Claudia, my host sister, made for me, we drove to the beach near my host father, Alex’s second house. On the way to the beach, my host mother, Alicia pointed many places out to me, such as a shopping mall, a church... and so on. Because she tried hard to talk to me, I was comfortable to talk back to her. She played music, including my favorite songs, in the car. I like to listen to pop music, especially ‘One direction’ and ‘Taylor Swift’. Claudia likes music, too. After one and half hour’s drive, we arrived at the second house. I met my host father and Natalie for the first time and we went to the beach together. I saw the Gulf of Mexico-the emerald green color filled my sight. It was breathtaking scenery that I’ve only seen in photos. I spent a wonderful time swimming with Claudia and Natalie, strolling on the beach and taking photos with the

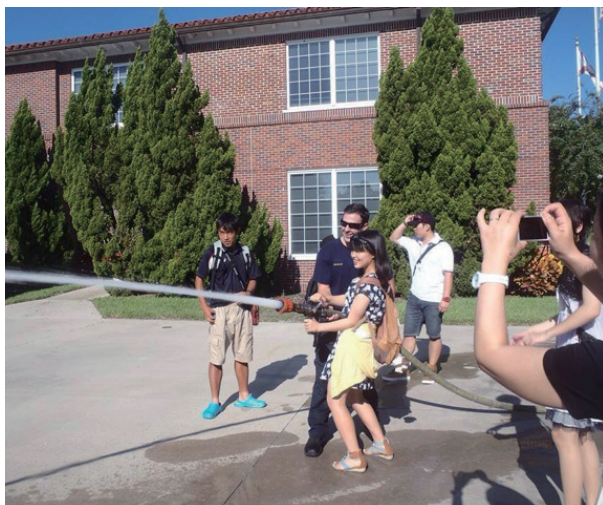
family. Since I seldom go swimming in the sea, it was a precious experience for me. After that we went to a beach-side restaurant. As my host father likes taking photos, he took my photos in various places near the beach. I appreciate their kindness. The family day on the second day was my best memory in Lakeland. I was happy to see and feel the beauty of nature in Florida.

From the next day, we took a Santa Fe bus to visit many places. I gave a brief speech to the Mayor of Lakeland as a representative of the group at Lakeland City Hall. The Mayor gave us a gift and a badge with ‘Love Lakeland’ on it in return. I hope the relationship between Lakeland and Imabari continues to deepen and continue for a long time. I was impressed to see that the officers at Lakeland police station and fire station work very hard to secure the safety of citizens. I was lucky to get in a patrol car and fire engine.

It felt like I was in a dream all day with my friends at Disney World. We enjoyed a parade and fireworks in the evening. At Kennedy Space Center, we could learn the history of the space shuttle by watching movies and looking at displayed objects. When we visited Harrison Art School, we could increase communication by drawing pictures with the art students. On the last day at the lake by the Lanpher’s, I could see all the group members having a great time while wakeboarding and having lunch together.

It was an only a two-week-stay, however, it has become an unforgettable experience for me. I can’t describe my feelings in a single word. I think my English has improved and I could establish a good foundation which will make my dream a reality in the future. I would love to visit Lakeland again with the same group of people as this time. In order to see each other again smiling, I am going to study more.

In conclusion, I would like to say thank you to all the people who took care of me, including our leader Toyoshima-san. Thank you so much for allowing us to have such a precious experience. I love Lakeland. Thank you to all.



私のレイクランド旅行記

楠橋 美里

私のレイクランド訪問は、今思うと本当に夢の様にあっという間だった。しかし、それは夢と言うにはあまりにももったいないほど大切な日々であった。8月8日、私たちは日本を旅立ち、太平洋を横断してアメリカへとやってきた。その時の一番の思い出は、日付が8月7日になっていたことだった。時差はわかっていただけが、実際に体感してみると何とも言えない気持ちになった。

そんなアメリカ滞在の1日目はサンフランシスコから始まった。そこでは主にバス観光で、ツインピールスという丘・フルハウスというドラマのモデルとなった家・ゴールデンゲートブリッジなどといった、映画や本の表紙で見たような所に訪れた。初めて感じるアメリカは私にとって全てが大きくて、ドキドキが止まらなかった。1日じゃないのでは！？と感じる程、その日は密度の濃い日を過ごした。しかし、そんな気持ちが覚めるのを待たず、私たちは本命のレイクランドへとまた飛行機で出発した。着いた時には迎いは真っ暗で、ホストの方々には既に地元の学校の集会所で待っていてくれた。ホストファミリーの事は事前にEメールを通して知っていた。しかし、画面越しで会話をするのと目を合わせて会話をするのでは天と地ほどの違いがあった。私を迎えてくれたのは、アレックスという14歳の女の子とその妹リリー、そしてお母さんだった。全員優しそうでその場の雰囲気も温かく、何も緊張する必要は無かったはずなのに、どうしても話そうとすると、喉の奥で言葉は全て消えて行ってしまった。本当に伝わるだろうか、上手く話せるだろうか、不安はどんどん募り、その日1日私は彼女たちとまともに話す事ができなかった。しかし、そんな不安は2日するとすぐに消えてしまっていた。上手く話そうなんて考えず、思いを伝えたい！その意思を強く持って話すと、彼女たちも理解してくれていた。聞く事も少しずつ耳が慣れていき、対応する事が出来てき

ていた。そうやっていくうちに、話す事が楽しくて仕方がなくなった。

私たちはレイクランドの市役所、警察署、消防署などの公共施設をはじめ、ディズニー、ビーチ、野球観戦などといったレジャー施設にも訪れた。はじめは何もかも違う様にみえていた景色も、日本と似ている点、違ってある点に気が付く事ができた。そんな目まぐるしい毎日の中で私がとても楽しかったのは、ファミリーと一緒に歌って踊った事だった。訪問先はどこも興味深く、本当に楽しかったのだが、一番となるとそれしかないと思った。陽気なテンポと共に彼女たちのお手本を真似て、手を振ったり腰を振ったりと笑い合いながら踊っていた。私が越えたくて仕方が無かった言語の壁を、踊りというそんなものが簡単に壊してしまった事に私は驚いた。そして、難しいと思う気持ちや不安というのは、私たちが勝手に作り出していた事を知り、心の奥に自信のようなものが生まれた。

しかし、楽しい事はあっという間に過ぎてしまうもので、2週間もすぐに終わりを迎えた。お別れの日の朝、ファミリーも私たちも涙をこぼしてその場をなかなか離れようとはしなかった。それほどまでに、この2週間はかけがえの無いものへとなっていたのだ。彼女たちは私に理解し合える事の喜びや、話す事の楽しさ、言葉の壁の無力さなど実に多くの事を教えてくれていた。しかし、私はまだまだ彼女たちが…アメリカが教えてくれた事に気づいていないだろう。だから、将来私はまたあの場所へ帰ってくる。それらの忘れものを取りに行くため、そして、新たな宝を見つけるために。

帰りの機内で、窓から見える朝焼けに反射して輝く湖と美しい街並みを見つめながら、私は心の中でつぶやいた。"Thank you, Lakeland. And, See you Again."



My journal of the trip to Lakeland

Misato Kusuhashi

When I think back about it, my trip to Lakeland was amazing and dreamlike, but gone in an instant. The days that I spent there were so precious that they can not simply be described with the word “dream.” On August eighth, we left Japan and crossed the Pacific Ocean all the way to the U.S.A. The most amazing part of that was how the date was August seventh in America. I knew about the time difference, but actually experiencing it was amazing, and I can not describe the feeling well.

The trip to America started like that, and we spent the very first day in San Francisco. We had a tour on a bus and visited Twin Peaks, a kind of hill; the house where the drama “Full House” was filmed; and the Golden Gate Bridge. Those places were things I had seen in movies or on the cover of books.

My first experience with America was exciting because everything was huge. I did so many things that I felt like it couldn’t have all happened in just one day. With that sense of excitement, we all departed by airplane to Lakeland, our main destination. By the time we arrived there, it was already dark. Our host families were waiting for us in the hall at the school. I knew about my host family through emails. However, talking over the Internet, and actually meeting them and talking were two completely different things. 14 year-old Alexy, her sister Lilly, and their mother welcomed me there. They were all nice and kind, so I didn’t need to get nervous about anything, but every time I tried to talk, all the words faded away deep in my mind. “Would I ever be able to communicate with them? Would I be able to speak English well?” Such anxieties took hold of me more and more, and I could not talk with them at all for the whole day. However, those feelings had gone away on the second day. I decided to not worry about speaking correctly. Instead I focused on my

passion to communicate with them, and that enabled me to make myself understood. I was also getting used to listening to English, and I was able to understand things better. Eventually, I found myself enjoying talking.

We visited public facilities, like the city hall of Lakeland, the police station, and the fire station, as well as recreational sites like Walt Disney World, the beach, and the baseball stadium. In those hectic days, I especially enjoyed singing and dancing with my host family. I did enjoy visiting all the other places, and it was very interesting; However, if I had to choose the best experience of all, the singing and dancing would be it. I danced as I watched them and learned how they move to the cheerful music. We all laughed shaking our hands and hips. I was impressed how easily the dancing made it possible for me to overcome the wall of language that I could not break through before. I was more confident when I realized that whenever I felt anxious or thought something was difficult, those feelings were self-created and they actually did not exist.

However, the time we enjoy passes quickly, and so did our two weeks abroad. On the last morning, my host family and I cried, and we did not want to leave there. The two weeks had become so precious. They taught me how fun it is to communicate with each other, how vulnerable the wall of language is, and many other things. I don’t think I was able to learn everything they and America tried to teach me me, so I will have to go back to find everything I missed as well as discover new treasures of knowledge.

During the flight back to Japan, as I was looking down from my window at the beautiful town and the shiny lake reflecting the sun rise, I whispered to myself, “Thank you, Lakeland, and see you again.”



「踏み出せた！夢への一步」

横田 菜歩

不安と期待いっぱいであえたレイクランド訪問。初めて体験することばかりで、何もかもが新鮮でした。ホストファミリーと初めてあった時は、なんとも言えない緊張と不安で積極的に話しかけることができませんでした。しかし、ホストファーザーのダグ、ホストマザーのジュリー、ホストシスターのキンゼイ、アヴィーは辛抱強く接してくださったので、すぐにその緊張と不安はなくなりました。また、犬のグレーシーはすぐになついてくれて毎日私の心の癒しになってくれていました。ホストシスターのエミリーには今回会えませんでした。また次の機会があればぜひお会いしたいと思っています。

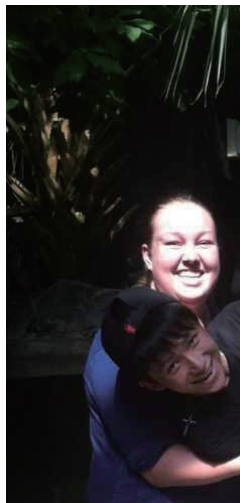
ホームステイが始まってからは毎日が驚きの連続でした。日本では考えられないくらいのお家、憧れのプールもありました。また、英語だけの環境で過ごすことも不安でした。ホームステイ1日目は、家族が何を話しているのかも分からず、「Yes」、「No」もはっきり言えませんでした。特に、ホストシスターのアヴィーはとてもおとなしく、なかなか私から話しかけていけませんでした。話してみるととても面白く、毎日話すのが楽しくなりました。ホストファミリーデーには、そうめんやおにぎりなどの日本食を作りました。電子レンジの使い方や調理用具の場所が分からず、バタバタしてしまいましたが、ホストマザーの助けを借りながら作ることができ、みんな喜んで食べてくれたので嬉しかったです。家のプールで遊んだ時には、特に、アメリカと日本の学校生活の違いについての話に花が咲きました。市役所訪問や警察署、消防署訪問では、レイクランドがとても美しい街であるということ、レイクランドのために毎日一生懸命働いている人が沢山いるということを知ることができました。ディズニーランドやケネディースペースセンターでは日本の友達だけでなく、一緒に来てくれたレイクランドの友達とも友情を深めることができました。ナイトフェスティバルでは、日本ではあまり見たことのないペインティングされたトラックの屋台が沢山あり、驚きました。私はパンタナードという日本の春巻き

のようなものを食べました。とても美味しかったです。セントジョセフアカデミーへの学校訪問では、折り紙や漢字を教えました。幼稚園児、小学生には、英語で説明できなかったところもあったにも関わらず、皆真剣に鶴や紙飛行機、奴さんなどを上手に作ってくれました。中学生は自分よりも年上なんじゃないのか？と思うほど大人びているように見えて、最初は緊張しました。しかし、漢字のクイズをしたり、名前をカタカナで書いてあげたりしていると、笑ってくれたり話しかけてくれたりして、やっぱり私と同世代の学生だなと感じさせられました。野球観戦では、生でイチロー選手を見ることもでき、とても楽しい時間を過ごすことができました。

今振り返ってみるとレイクランドに滞在していた2週間はあっという間でした。最初にものすごく感じていた言葉の壁も一緒に過ぎていくうちに感じられなくなり、より一層絆や友情が深まったと思います。レイクランドで友達になったヘイリーやアレックスとはメールアドレスを交換し、今でもメールのやりとりをしています。本当に素晴らしく、充実した2週間でした。

早朝や夜遅い時間の送り迎え、毎日のお洗濯、食事、私のためにいろいろなことをしてくださったホストファミリーの皆さん、毎日一緒に行動してくださった方々、移動のためにバスを提供してくださったサンタフェハイスクールの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

私は大学で英語を勉強し、留学したいという夢があります。今回の訪問は、得られるものが多く、その夢への大きな第一歩になったと思います。そして、とてもいい経験になりました。英語が上手に話せなくても、いくつかの単語を使うだけでもいいから話しかけていくこと、「Yes」、「No」ではっきり意思表示すること、自分の考えをはっきり述べながら積極的に話しかけていくことの大切さを改めて実感することができました。この経験をこれからの生活にも生かしていきたいです。そして、またいつかレイクランドへ、ホストファミリーの元へ行き、成長した姿を見てもらいたいです。



I could step forward to my dream!

Naho Yokota

The day came to visit Lakeland, Florida. I was very worried, but I was excited, too. Everything was something that I had not experienced before. When I met my host family for the first time, I was so nervous and worried that I could not talk to them in a friendly manner. However, the host father Doug, the host mother Julie, and the host sisters Kinsey and Abigail were so patient and kind that my worries went away quickly.

Also, their dog Gracie quickly became a good friend to me, and she helped me feel relaxed. I didn't have a chance to meet another host sister, Emily, but I would love to meet her next time.

During the home stay program, something new surprised me every day. I saw a house so huge that I would not have been able to imagine it existing in Japan, and there was a gorgeous pool, too. I was also very worried about spending time in an environment where I could only use English. I could not even say "Yes" or "No" on the first day of the program because I could not understand what anyone in my host family was talking about. Abby was quiet, so I had an especially difficult time talking to her, but once we started talking, looked forward to talking with her every day. I made somen noodles and onigiri for the family. I was not used to their microwave, and I did not know where to get their kitchen utensils. However, thanks to some help from my host mother, I was able to make the food (though I probably looked a little high-strung as I did so). I was happy to see them enjoying the food.

When we spent time at their pool, we talked a lot about the differences between daily life in America and in Japan. When we visited city hall, the police station, and the fire station, I realized what a beautiful city Lakeland is, and I learned that there are many people working hard for the community. At Walt Disney World and Kennedy Space Center, I was able to get closer to not only my Japanese friends but also my friends in Lakeland who came along. At the night festival, I was surprised to see many street vendors with painted cars, which I had not seen before in Japan. I had a pantanada, which is kind of like the spring rolls in Japan. It was very

good. When we visited St. Joseph Academy, we taught them how to do origami and kanji. Although I could not fully explain how to do it, the kindergartners and elementary school students tried very hard to make cranes and airplanes. I was nervous at first when I saw the junior high school students because they looked more mature than I was. However, I felt that after all we were around the same age as they had fun and talked to me when we did kanji quizzes and when I wrote their names in katakana.

When we watched the baseball game, I could actually see Ichiro, and I had a wonderful time. When I look back now, the two weeks in Lakeland went by in a flash. The wall of language I saw at first gradually disappeared as we spent time together, and that brought us even closer.

I exchanged email addresses with Haley and Alex, who I met in Lakeland, and we still keep in touch through email. It was a really wonderful and satisfying two weeks.

I am full of gratitude for my host family, who would drive me to places early in the morning and late at night. They did a lot of things for me, such as doing the laundry and preparing meals every day. I would also like to thank to everyone who oversaw every day of the program, and finally I'd like to thank Santa Fe High School for letting us use their bus to visit places. I have a dream to study abroad after I study English at a university. I believe I have learned many things, and this has become my first step to that dream. It also gave me great experiences. I realized that even if I could not speak English well, just a few words would do to communicate with someone. The program reminded me of how to show what I want with a simple "Yes" or "No", and how important it is to talk confidently to people about my opinions. I would like to keep that in mind and improve my life from now on. Some day, I would also like to go back to Lakeland to visit my host family and show them how much I have grown up.



レイクランドの思い出

山田 茜

この研修は観光、交流、ホームステイと、毎日が目まぐるしく過ぎてゆきました。最初から最後まで初めての経験の連続で貴重な機会をいただきました。その中でもレイクランドで過ごしたホームステイでの二週間は私にとっても充実したものとなりました。

レイクランドに着いて私がお世話になった家はテンペニ一家です。夜に着いたのですが、緊張している私を想定して、用意してくれた部屋には私への歓迎のプレゼントをたくさんベッドの上に置いていて「楽しみましょう」と明るいメッセージが添えてありました。夜が明け、初日はホストファミリーと過ごす一日でした。朝から教会へ行きました。教会ではまず「近くの人と握手をして朝の挨拶をしましょう」という放送から始まりました。前後の見知らぬ人々とも挨拶をしました。「おはよう」「アメリカへようこそ」と笑顔で話しかけてくれ、歌を歌い、聖書を読みました。もちろん全て英語なので、全部はわからないながらも、建物や人々の会話、時間の流れの中に異文化を感じ、改めて「アメリカにきている」と実感しました。

その後、ホストファミリーとショッピングモールに行き昼食をとりました。英語のメニューを見ながら注文するのはとても難しく、助けを借りながらサンドイッチを頼みました。観光地ではないので日本語を見つけることもできませんでした。メニューの写真が助かり視覚による情報の大切さや、伝える事の難しさを知りました。一回の食事ですごうので、「生活していくためには、早く英会話を習得しないといけない、早く英語が話したい」と強く思いました。食事の後、食料品の買い物では日本では見ないビックサイズにびっくりしている私にファミリーの皆が大笑いしていました。英語が聞き取れなかった私にゆっくりと話してくれ、理解するまで気長に待ってくれました。

この初日のホストファミリーデイでずいぶん私の緊張はほぐれ、会話が楽しくなりました。その夜に「明日の朝は何時に起きたらいい？」と自分から予定を聞き、日常会話ができたことが嬉しく感じました。そうして安心して就寝しました。

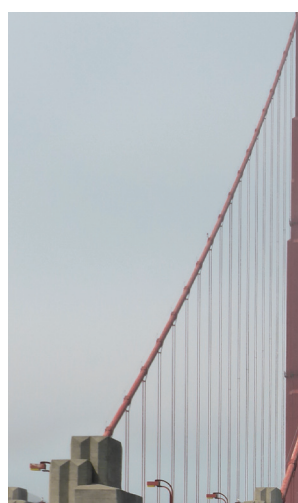
次の日からはずっとジュリアと一緒に行動しました。私が退屈しないようにいろいろな事を教えてくれ、面白いものを見つけると「カムヒア」と言ってあちこち見て回りま

した。広大な土地に建物、すべてがビックサイズで大らかな人々。見るもの聞くものが新しく、どんどん全てを吸収している自分自身「私はこんなに表現できるんだ。」と新たな自分を発見することにもなりました。

また、ジュリアは私にとっても興味深いものを教えてくれました。私が「クシュン」とくしゃみをするとき「くしゃみをするときはアチューと発音するのよ。すると、相手がブレスキューと言うわ。そうするとサンキューと返す。」と。その流れが自然にできるようになった時にジュリアはとても喜んでくれました。他にもアメリカの手遊び歌も教えてもらいました。日本と違った環境、文化の中に生活の習慣、風習といった「人間の生活感」に興味を感じました。

ある日、私は野菜をたっぷり入れた味噌ラーメン（袋麺）とだし巻き玉子をホストファミリーに食べてもらいました。「美味しい。ヘルシー。」と大絶賛。褒めるリアクションが大きいので私もつつい得意になってしまい喜んでいて、ジュリアがヤキモチを焼いてすねたので、思春期はどこまで一緒だと兄弟のように親近感を持ちました。その夜、ゆっくりといろんな話をしました。家族や将来の夢、今通っている学校の話等。私の通う学校では、夏は海で体育の授業があると話すと、とてもびっくりしていました。ジュリアの学校は全校生徒が約三千人もいる事を聞いて私もとてもびっくりしました。今日一緒に食べた日本の食事について、日本の日常の食生活を話すとローラが日本食はとても健康的だと褒め、アメリカの食文化も教えてくれました。また、アメリカから見る日本人はとても勤勉で優しいと言ってくれました。私も「アメリカの人たちはとても大らかで優しく親切で私はアメリカの人たちが大好きだ」と伝えると喜んでくれました。

「あっという間」の表現通り、この研修は毎日が新鮮でめまぐるしく過ぎました。最初から最後まですべてが学びで、自分の中にもう一つ世界が広がったと感じています。このたびチャンスをいただき、自分が得たことを今後の自分の将来に生かしたいと強く感じました。特に日常の生活における風習、文化の違いに興味を持ったのでこれからは外国と日本の文化についてさらに深く学んで行きたいと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



My memory of Lakeland

Akane Yamada

This program had sightseeing, socializing with local people, and a home stay. Every day passed quickly. From the beginning of the program to the end, I was given the precious opportunity to experience new things. The two week long home stay program in Lakeland was above all an especially satisfying experience.

The house I stayed at after I arrived in Lakeland was the Tenpenny's. I arrived at their place at night and found lots of welcome presents on the bed in my room. There was a positive message that said they were looking forward to spending time together with me. They wanted to help me feel less nervous.

The next morning, I spent the first day with my host family. We went to their church in the morning. The first thing they told me was, "Please shake hands with the people around you and say 'Good morning'." I greeted people in front of me and behind me. "Hello," and "Welcome to America!" they said with a smile.

We sang and read the Bible. Everything was in English of course, so I could not understand it all. However, I could feel their foreign culture in the building, in their conversations, and even in the way the time was passing. Those things made me realize again that "I am in America."

After church, I went to a shopping mall to have lunch with my host family. It was hard for me to decide what I wanted and order from the menu in English. I ordered a sandwich with their help. Since the place was not particularly for tourists, I did not see anything in Japanese. When I saw pictures in the menu, I found out how important visual information is and how difficult communication can be. I had such a hard time getting a meal even this one time, so I realized that to actually have a life abroad I needed to be able to speak English. I wanted to do that as soon as possible. After the lunch, we went grocery shopping. My host family was laughing a lot at how much the huge size of foods surprised me. They talked to me slowly as I could not catch everything they said, and they waited for me patiently until I understood them. This first day with my host family made me feel relaxed, and talking with them became fun. That night, I asked them, "What time should I get up tomorrow morning?" and the fact that I could start a conversation made me happy. I felt safe and so I was able to sleep very well that night.

From that day on, I would spend all my time with Julia. She showed me many things so that I would not get bored. Whenever she found something interesting, she would say, "Come here," and show it to me. She took me to a lot of places. The open lands, the big houses—

everything was huge, and so were the hearts of all the people I met. Everything I saw and heard was new, and I was learning so much. I became a new person when I discovered how much I could express myself.

In addition, Julia taught me something very interesting one day. I sneezed and made the sound "kushun" like Japanese people usually do. Julia explained, "Whenever we sneeze we make the sound 'achoo', and then people around you say, 'Bless you,' and you say, 'Thank you.'" When I mastered the whole manner, Julie was very happy for me. She also showed me some songs like "Moose Alpaca". I found American life interesting, including the lifestyles and customs present in environments and cultures that are very different from those in Japan.

One day, I made the family some Japanese-style omelets and a package of miso ramen with lots of vegetables in it. "It's good, and it's so healthy," they said, enjoying the meal. They gave me so many compliments that I became a little full of myself. Julia seemed like she might have gotten a bit jealous, but that made me feel even closer to her because I realized that teenagers are the same everywhere. I felt like we were real sisters.

That night, we relaxed and talked about many things: my family, my dreams in the future, and my school. They were very surprised to hear how we have P.E. Class in the ocean in summer at my school. I was surprised to hear that there are about three thousand students in Julia's school. When I talked about the Japanese food we had eaten together that day and what we eat every day in Japan, Laura said that Japanese food sounds very healthy. She told me about what they eat every day in America. She also said that the image that Americans have of Japanese people is that they are very hard working and kind. I said that I love American people because they are very generous and kind, too. Hearing that made my host family happy.

"An instant moment." would be the proper way to describe how quickly the time passed during the program. There was something new every day. From the beginning to the end, everything was something that I could learn, and I believe that I broadened my horizons. I learned a lot thanks to this opportunity, and I would like to use all that I learned for my future development. I became especially interested in the differences between the daily lives, customs, and cultures of foreign countries and Japan, so I would like to keep learning deeply about them. Thank you again for giving me such a great opportunity to have such a special experience.



レイクランドを訪問して

藤本 吉乃

今回レイクランドへ行こうと思った理由は将来希望している海外留学のためになると思ったからです。東京からフロリダまでは飛行機で17時間ほどかかりましたが、時間が進むにつれて期待が大きくなりました。初めてホストファミリーに会うときは緊張しました。しかし、フレンドリーなお母さんと可愛らしい娘さんのおかげでなんとか話しかけることができました。

私のホストファミリーはペレズ家の皆さんで、おばあちゃんのエマ、お母さんのキャロライン、娘のアンドリアーナとガブリエラの四大家族でした。皆さんとても優しく、すぐ仲良くなれました。お姉さんのアンドリアーナは日本が大好きでした。持っていったお箸のお土産をととても気に入ってもらえ、嬉しかったです。ホストファミリーの家に入って驚いたことは家の中をととても寒くしていたことです。家の中と外の寒暖の差が大きく日本との違いに驚きました。

次の日からいろいろなところに訪れました。ホストファミリーデーでは、ホストファミリーと初めて一緒に行動で初めは緊張しました。教会へ行ったり、大きなハンバーガーを食べたり、ボウリングをしたりしていくうちに打ち解けることができ充実した一日を過ごせました。他にも警察署やディズニーワールド、ケネディスペースセンターやホリスガーデンなどに訪れました。とても興味深かったです。

警察署は市議会議場の近くにあったので歩いて行きました。警察署の皆さんはとてもフレンドリーで面白かったです。署内を見学した後、外で白バイやパトカーなどを見ました。警察犬もいて、触らせてもらいました。とても大きかったけれどしっかり訓練されていることがわかりました。海やプールへも行きました。突然の雷雨が

止むのを待つ間、現地の人が教えてくれたゲームをしました。現地の人と触れ合えることができて、とても楽しいひとときでした。

別れは朝早いにも関わらず、家族全員が起きてお別れを言ってくれました。「また来てね」とみんなが言ってくれ、そのことに感動して、寂しく思い泣いてしまいました。

レイクランドを訪問して学んだことはたくさんありますが、その中でも特に大事だと思ったことは二つあります。

一つは積極性です。アメリカの人は行動力があります。何かをしたいと思ったらすぐに行動する、その行動力に驚かされました。日本人はよくシャイだと言われます。しかしこれからの国際社会を生き抜くにはこれがとても重要だと思いました。

もう一つは自分の気持ちをきちんと伝えることです。ホストファミリーに何が食べたいかと聞かれ、なんでもいいと答えると、もう一度何が食べたいと聞かれました。アメリカではこれが食べたいなど、自分の考えを相手に素直に伝えることの大切さを学びました。

今回レイクランドを訪れたことによって自分がすごく成長できたと思います。学んだことを生かし、今後の成長に役立てて行きたいと思います。そして、海外留学を実現したいと思います。これから、今まで以上に英語の勉強に励んでいきます。

最後になりましたが、この親善訪問に関わってくださった豊嶋団長、柳原さん、笹間さんや今治市国際交流協会の皆さま、家族のみんな、ペレズ家の皆さん、本当にありがとうございました。

いつかもう一度、レイクランドを訪れたいです。



Visiting Lakeland

Yoshino Fujimoto

It would be a big help to my dream of studying abroad: that's why I decided to go to Lakeland. It took about 17 hours flying from Tokyo to Florida. Gradually I got excited. I was nervous when I met my host family for the first time. However, my host mother and host sister were so friendly that I could talk to them.

My host family was the Perez family: Grandmother Emma, mother Carolyn, daughters Adrianna and Gabriella. Everyone was so kind that we warmed up with each other quickly. Adrianna loves Japan. I was glad that she liked the chopsticks I gave them. They kept their home very cool and the indoor-outdoor temperature difference was wide, which surprised me a lot.

I visited many places. On the host family day, I was nervous to go out with my host family for the first time. I gradually began opening up to them and I had such a productive day: went to church, ate a big hamburger, went bowling, and so on. In addition, I went to the police station, Disney World, Kennedy Space Center, and Hollis Garden. They were all interesting.

The police station was close to City Hall and we walked there. The police officers were all friendly and funny. After taking a tour of the police station, we saw police motorcycles and cruisers. There were also some working dogs and I petted them. They were quite big but well-trained.

I went to the ocean and the pool. While we were waiting for a sudden thunder shower to pass, we played a game

that the local people taught us. It was a really good chance to get to know them.

Although I left very early in the morning on the departure day, the whole family woke up and said good-bye to me. Everyone told me to come and see them again. I was really moved by this and cried.

I learned a lot from this visit to Lakeland, but there are two things in particular that I think are important:

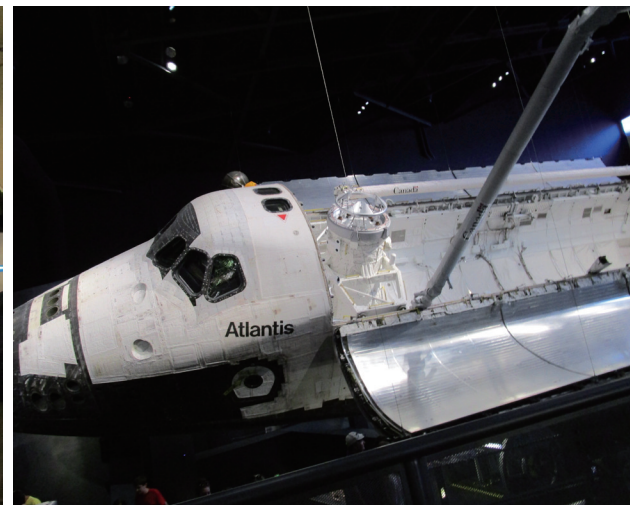
One is activeness. Americans are people of action. I was surprised that they act at once when they want to do something. Japanese people are often said to be shy. It is important, however, to be active to survive in this global society.

The other thing is to express myself and feelings directly. When my host family asked me what food I wanted to eat, I answered anything would do. Then, they asked me what I wanted to eat again. I learned the importance of communicating my feelings in the U.S.

I think I've made a lot of progress through this visit to Lakeland. I'd like to make use of this experience towards my future growth. I'll achieve my dream of studying abroad. I'll study English much harder than ever.

Finally I'd like to express my appreciation to everyone involved in this trip: Mr. Toyoshima, the leader, Ms. Yanagihara, Ms. Sasama, ICIEA, the Perez family and my family.

I'll visit Lakeland again someday.



レイクランドでのホームステイ☆

徳永 鈴

私は以前から海外に興味があり、ホームステイや留学をしてみたいと思っていました。ちょうどその時学校でホームステイについての話を聞き、これだ！と思い参加しました。

私はデモヤファミリーのお宅にホームステイすることになりました。お父さんのリカードさん、お母さんのキャロルさん、長女のトミカ、次男のジェームズ、次女のチェルシー、トミカの息子のネイトの6人家族でした。私は人見知りで初対面の人と目を合わせて話すことや、自分から話しかけることが苦手です。しかし、アメリカの人たちは皆、目を見て会話します。だから私も目を見て会話しないといけないと思い、そうできるよう努力しました。始めのうちは緊張して、何をするにしてもぎこちなく、違和感だらけでした。でも、9歳のネイトがたくさん話しかけてくれたり、いろいろな遊びに誘ってくれたりして、だんだんと緊張もほぐれ、リラックスして過ごせるようになりました。一週間程経ったときには、自然に目を見て会話することができました。

ホストファミリーデーでは、お母さんのキャロルとチェルシーと映画を観に行きました。映画はもちろん英語で日本語の字幕ありません。何を言っているか分からなかったけど、内容は少し理解できました。映画館で何より驚いたのは、ポップコーンとジュースのサイズが日本との比べるとすごく大きいことです。ポップコーンはバケツ並のサイズでジュースも日本の3倍くらいのサイズでした。ジュースはもちろん飲みきることができず、とてもお腹がいっぱいになりました。そして、もうひとつ驚いたことは、映画で面白いシーンがあると、アメリカ人の人たちは皆声に出して笑うことです。中には吹き出している人もいました。日本ではあまりないことなのでびっくり驚きました。

アメリカにはポケットティッシュがないと聞きました。実際家には箱のティッシュすらなく、食事の時などはキッチンペーパーを使っていました。タオルも、フェイスタオル

と同じ大きさくらいのタオルはないそうです。また1つ違いを見つけることができました。家は土足で、トイレを使ったあとは扉を開けておく、食事はフォークとナイフ、文化の違いをたくさん発見することができ、視野が広がったように感じました。

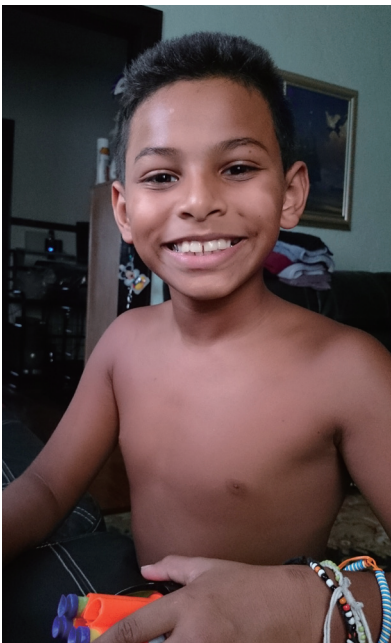
他にも、警察署やディズニーワールド、ケネディ・スペースセンター、消防署、美術館、ビーチ、水族館などを訪れました。

警察署では、中を見学させてもらったり、パトカーや白バイを見せてもらったりしました。アメリカの警察のバイクは黒色ですごくカッコ良かったです。S.W.A.T.の車や銃も見せてもらいました。ケネディ・スペースセンターでは3Dで、宇宙のことやスペースシャトルの説明の映像を観ました。そのあとは、中を見学し、スペースシャトルや宇宙服などを見ました。ビーチも行くことができ、さらさらの砂浜にとっても驚きました。フロリダは午後からよく雨が降り、天気がころころ変わるので大変でした。フロリダでは、日陰は涼しいけど、日なたは日差しが日本の3倍あるらしく、とても暑かったです。

アメリカ、外国人との生活、何もかもが初めてですごく緊張したけれど、たくさんの外国人の人たちと会話ができ、いろいろな場所にも行くことができたことは、私にとって良い経験でした。またアメリカと日本の文化の違いにも触れることができ、とても良い二週間が過ごせました。

私は将来、英語を使うことができる職業に就きたいと思っています。このレイクランドでの二週間で、その気持ちが強まったので、これからも英語力を高めたいです。そして、再びレイクランドを訪れ、デモヤファミリーに会いに行きたいです。

最後にレイクランドでお世話になった皆様、団長の豊嶋さん、引率の柳原さん、笹間さん、関係者の皆様、本当にありがとうございました。



My Homestay in Lakeland

Rin Tokunaga

I've been interested in foreign countries and wanted to go abroad for homestay or studying. Just then, I heard about this dispatch at school and thought this is what I wanted to do!

I stayed at DeMoya family's house. There are six members: Ricardo, Carol, Tomika, James, Chelsea and Nate, Tomika's son. I'm bashful. I get tense when I talk to someone with making eye contact and chat someone up. Americans talk to each other with maintaining eye contact. So I thought I should do so and tried. At first I felt awkward and strange when I did everything. However, Nate, who is 9 years old, talked to me a lot and showed me various plays. Thanks to him, I felt the tension gradually leaving and I had a nice time at a relaxed state. After a week, I could talk with them in a natural manner, making eye contact.

On the host family day, I went to see a movie with my host mother Carol and my host sister Chelsea. The movie was of course in English without Japanese subtitles. I didn't understand what they were saying but I could absorb the contents a little. What surprised me most in the movie theater was that the size of popcorn and juice was much bigger than that in Japan. The tub of popcorn is like a bucket and the size of juice is about three times as big as that in Japan. I couldn't finish drinking it as is obvious and I got so full. The other thing that surprised me was that Americans gave a peal of laughter at a funny scene. Some burst into laughter while Japanese people rarely laugh out loud.

I hear that there are no pocket tissues in the U.S. Actually there was no boxes of tissues at home. They use kitchen paper instead. They don't have towels which are similar in size to

face towels of Japan. I discovered another difference between Japan and the U.S. I found many cultural differences: they enter a house with their shoes on, leave the door open after using the bathroom and eat food with a fork and a knife. This discovery has broaden my horizons.

Furthermore, we visited the police station, Disney World, Kennedy Space Center, the fire station, the museum, the beach, the aquarium and so on. At the police station they showed us around and showed us police cars and police motorcycles. The police motorcycle in the U.S. is black and so cool. They also showed us cars and firearms of SWAT. At Kennedy Space Center we watched the video which explained about the space and the space shuttle with three-dimensional images. After that we took a tour and saw a space shuttle and a spacesuit. We went to the beach as well and I was surprised at trickling sand. In Florida it often rains in the afternoon and the weather is changeable. Although it was cool in the shade but it was quite hot, with the sun being three times as strong as Japan.

The U.S. and the days with foreigners. Everything was new to me and I was very nervous at first. But it was a good experience for me to meet many foreigners and go to various places. I enjoyed this 2 weeks because I could be exposed to a cultural difference between Japan and the U.S.

I want to get a job which requires English ability in the future. I want to go to Lakeland to meet DeMoya family again.

Finally I'd like to express my thanks to Mr. Toyoshima, the leader, Ms. Yanagihara, Ms. Sasama and everyone involved for everything.



レイクランドでの思い出

楠本 博基

今回のホームステイは僕にとって初めての海外だったので、最初は不安な気持ちで頭の中がいっぱいでした。まずサンフランシスコに到着し、観光をしました。僕が行ってみたいと思っていたところにも行け、野生のアシカにも出会え、とても充実した観光をしました。その夜はサンフランシスコのホテルに宿泊しました。ホテルの上空では、飛行機のエンジン音が聞こえました。

次の日は、朝早くに起きて空港に向かいました。飛行機の中では、映画を見たり音楽を聴いたりしていましたが、一番印象に残ったのは、飛行機から見える景色です。それは本当にきれいで、日本では到底見ることのできないアメリカの雄大な景色に、僕は感動しました。

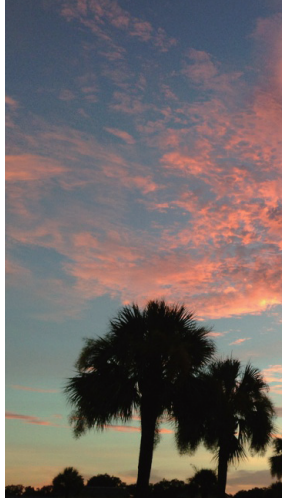
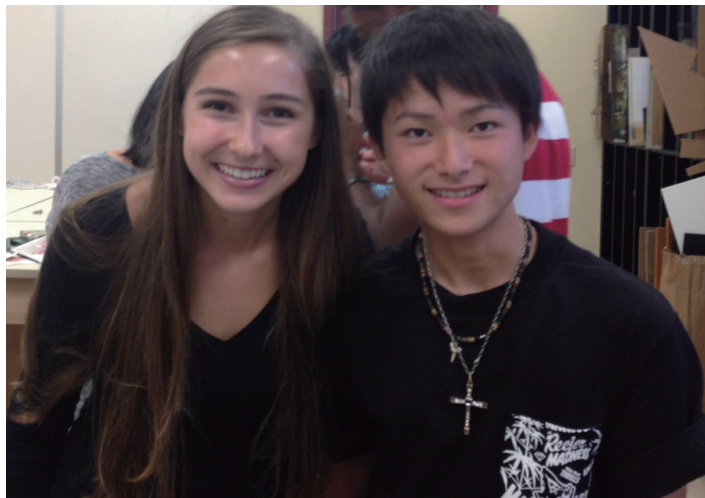
レイクランドに着くと、ホストファミリーの方々が笑顔で僕たちを迎えてくれました。僕のホストファミリーは5人家族のラブリー家 (Lovely) でした。初めてお会いした時には、緊張のあまり自己紹介もできないほどでした。家に帰ったらホストファミリーのお父さんとコナー (Conner) が迎えてくれました。家族みんなで部屋の案内もしてくれました。家には卓球、ビリヤード、ホッケーができるテーブルがあったので、僕はとっても驚きました。その夜は遅かったので、コナー以外の家族は寝てしまいました。コナーは僕のために起きていてくれました。そのあと、コナーに卓球がやりたいと言うと一緒にしてくれましたが、コナーはとても上手で全然勝てませんでした。その後、ビリヤードもやりましたが負けてしまいました。その後コナーはもう寝ると言ったので、僕も寝ることにしました。シャワーの水を温める方法が

わからなかったので聞こうと思いましたが、みんな寝ていたので仕方なく冷たいまま浴びました。とても寒かったので、すぐに布団に入りすぐ寝ました。

次の日、ホストファミリーデーだったので、ホストファミリーのエリザベス (Elizabeth) とジェイムズ (James) と遊びました。最初に卓球をしました。二人ともとても上手だったので勝てませんでした。それから Wii のマリオカートをしました。初めてだったのでコースの外に落ちたりしてみんなで笑いました。そして楽しい一日が終わりました。

その後は、市役所、警察署、ケネディ・スペースセンター、学校、工場等を見学しました。その中でも一番印象に残っているのは警察署です。警察署では、普段見られない鑑識や通報システムや警察犬などを見たりしてとても楽しみました。またハリソン美術大学では、在校生の人たちと一緒に絵を描きました。最初、何を書けばいいのか分からなくて困っていたら、女の子二人が助けてくれました。シドニー (Sidney) とベッラ (Bella) という女の子達で、彼女たちはとても親切で優しく、絵も上手で、僕に絵の描き方や、色の具合なども教えてくれました。とても分かりやすかったので、自分なりにいい絵が描けて、とてもいい思い出になりました。

この2週間の経験は、僕にとって一生忘れることのない経験になりました。この経験を将来の職業などに生かせるよう、頑張りたいと思っています。本当にありがとうございました。



Memories of Lakeland

Hiroki Kusumoto

It was my first trip abroad, so I was full of anxiety. At first, we landed in San Francisco and did some sightseeing. I went where I wanted to, and I was able to see some wild sea lions. It was really fun. That night we stayed at a hotel in San Francisco. Above the hotel, I could hear the sound of airplane engines.

We headed to the airport early in the morning the next day. During the flight, I watched some movies and listened to music, but the most impressive thing was the scenery that I was able to see from the airplane. It was very beautiful, and I was moved by the vast views, the likes of which I would never have been able to see in Japan.

Once we arrived in Lakeland, the host families welcomed us. My host family was the Lovelys. There were five family members. I was so nervous that I could not introduce myself at first. When I went to their place, my host father, Conner, welcomed me. All the family showed me around their house. I was very surprised to see their table tennis table, their billiards table, and their air hockey table.

As it was getting late, they all went to sleep except for Conner, who was staying up for my sake. After everyone else went to bed, I asked Conner if we could play table tennis. We played it, but he was so good that I could not win at all. After table tennis, we tried playing billiards, and again I wasn't able to win. After that, he said he was going to bed,

and so I went to bed, too. I was going to ask them how I could get warm water in the shower, but everyone was asleep, so I took a cold shower. It was very cold, so I quickly went to bed after the shower and slept.

The next day was Host Family Day. I played with Elizabeth and James. We played table tennis first. They were so strong that I could not beat them. We played Mario Kart on the Wii. I had never played it before, so I fell off from the course, and we laughed together. It was a very fun day.

Later, I visited city hall, the police station, the Kennedy Space Center, schools, and factories. Above all, the police station was the most interesting for me. I enjoyed learning about the crime lab team, the reporting system, and the police dogs, which I would not have been able to see normally. Also, at the Harrison School for the Arts, I drew a picture with the other students. I didn't know what to draw at first, but two girls helped me. The two girls, Sidney and Bella, were very kind and good at drawing. They taught me all about colors and how to draw. They taught me well, so I think that I was able to draw the picture well enough. It was a good experience.

These two weeks gave me an experience that I will never be able to forget. I will strive to use this experience for my future career. Thank you very much for everything.



初めてのホームステイ

加藤 大知

私は昔から語学・地理・歴史・外国文化に関心を持っており、いつかホームステイをしてみたいという希望を持っていました。よって、今回のレイクランド市訪問は私にとって絶好の機会であり、一生忘れることのできない最高の思い出となりました。

参加が決定してからの約4カ月間、最初のうちは楽しさと期待感で満ち溢れていましたが、出発日が近づくにつれ徐々に「本当に大丈夫なのか?」「本当に英語が通じるのか?」という漠然とした不安感が私にのしかかってきました。

8月8日午前7時30分に今治を出発し、約22時間をかけて（うちサンフランシスコで1泊）ようやく9日午後9時（現地時間）にレイクランド市サンタフェカトリック高校へ到着しました。夜遅くにもかかわらずホストファミリーの方は私を温かく歓迎してくれ、すぐに「Are you hungry?」「Would you like to drink?」と気遣う言葉をかけてくれ、私はその言葉で緊張感・不安感がなくなり気持ちが非常に楽になったことを今でも鮮明に覚えています。

ホストファミリーの Massarella 家は6人家族でした。スポーツ好きのお父さん（トーマス）とはテレビで迫力のある本場のプロアメリカンフットボールの試合と一緒に観戦しました。お母さん（エミリー）は料理上手で、私は「アメリカの食事が口に合うのか?」と少し不安でしたが、お母さんの料理はとても美味しく家族の方との食事の時間が楽しみでした。3人の男の子（アンドリュー・ダニエル・マシュー）は明るくスポーツ万能で、一緒に過ごすのがとても楽しかったです。特にダニエルとは行動を共にすることが多く、親切・丁寧にいろいろ教えてもらいました。末っ子（リア）はかわいい4才の女の子、私が御土産として日本から持って行った「てんてん玉」を非常に気に入ってくれました。日本の御菓子（特にハイチュウ）も大絶賛でした。また、Massarella 家の

方はみんな優しく、何よりも一緒に楽しく過ごせたことが本当によかったと思いました。

ところで、レイクランド市では自動車免許が16歳で取得できる・小中一貫校があるなど驚くことも多くありました。しかし、特に驚いたことは日本であまり見られない宗教への信仰心の篤さでした。レイクランド市ではキリスト教を信仰している家庭が多く、私がお世話になったサンタフェカトリック高校もキリスト教の学校でした。学校では聖書を学ぶ授業があり、学生たちも熱心に聖書を勉強していました。また、家庭では食事前には必ず神に感謝の祈りを捧げ、毎週日曜日には教会の礼拝に参加する習慣があると聞きました。私もホストファミリーのときに教会に連れて行ってもらい、日本では決して体験できないキリスト教徒の信仰心の篤さを実感することができました。

今回のホームステイでは、他に警察署訪問・ディズニーランド・MLB 観戦・パブリック社見学でのお礼のスピーチなど多くの貴重な経験をすることもできました。どれも楽しい出来事でしたが、そのたびに会話をする際に度胸・積極的な行動力・英語力がいかに大切かということを感じました。

今回は私にとって初めてのホームステイでしたが、今後は積極的な行動・度胸・英語力をさらに向上させレイクランド市以外のさまざまな都市にも是非行ってみたいと強く思いました。また、来年はレイクランド市から今治市へ訪問団が来られると聞きました。今回私がレイクランド市で温かく迎えられたように、今度はさらに進化した私がレイクランド市から来られた方を温かく迎えたいと思います。

最後に、今回のホームステイにあたり今治国際交流協会・ホストファミリーの Massarella 家・豊島団長・笹間さん・柳原さん・お世話になったすべての方々へ感謝の言葉を述べたいと思います。ありがとうございました。



My first homestay

Daichi Kato

I am interested in languages, geography, history, and foreign cultures. I have also always wanted to do a homestay in a foreign country. The trip to Lakeland was a dream come true. I really had a great time during the trip.

For the four months after I was chosen as a member of the trip, I was full of expectations. However, as the date of departure approached, I gradually got worried, thinking “Will I really be ok in America?” or “Can I make myself understood in English?”

On the eighth of August, we left Imabari at 7:30 a.m. and arrived at Saint Fe Catholic High School in Lakeland at 9 p.m. on the ninth (local time). It took about 22 hours, including a one-night stay in San Francisco. Although we arrived late at night, my host family, the Massarellas, gave me a hearty welcome and asked me, “Are you hungry?” and “Would you like something to drink?” Their kind words helped me relax a great deal.

My host family had six people. My host father, Thomas, liked sports and we watched an exciting American football game on TV together. I was a little worried about American food, but luckily my host mother, Emily, was a good cook and I always enjoyed the meals she made for the family. Their three boys, Andrew, Daniel, and Matthew were all cheerful and liked sports. We boys had a good time together. I especially hung around with Daniel. He kindly thought of a lot of things for me. The youngest child was a four-year-old girl, Lea. She was cute and liked the Japanese paper ball (ten ten dama) that I gave her as a souvenir. She also loved the

Japanese candy, Hi-Chew, so much. I loved all the members of the family and had a great time with them. Being with the family was the best thing that happened to me during the stay in Lakeland.

By the way, in Lakeland, I was surprised to learn many things. First, people can get a driver’s license when they turn 16 years old. Second, there are schools combining elementary and junior high schools. Third, many people are earnest Christians, while many Japanese are atheists. Santa Fe High School is a catholic school and the students were studying the bible seriously in the bible class. People pray before meals as well as go to church on Sundays. Going to church with my host family was an interesting event.

During the trip, we visited many places like the police station, Magic Kingdom, a ball park, and Publix where I made a thank you speech. Wherever I went, I just realized how important one’s English ability is. I also understood that I need to be brave and positive in order to communicate with people. I want to develop these abilities and go to other foreign cities in the future.

I heard that Lakeland students will visit Imabari next year. I would like to welcome them to return the favor of the people in Lakeland.

I would like to express special thanks to Imabari City International Exchange Association, my host family, the Massarellas, Mr. Toshima, Ms. Sasama, Ms. Yanagihara and all the other people involved.



ホームステイ in Lakeland

宮武 明弘

今回、私は今治市の海外派遣事業である「レイクランド市親善訪問」に初めて参加しました。前々からこのような海外派遣事業に関心はあったのですが、迷いがあり、チャンスを逃していました。しかし今回、この海外派遣事業の案内が学校であったとき、今度こそチャンスを逃すまいと思い、応募しました。私はこの海外派遣で「英語力の向上」「文化交流」など、様々なことを目標にし、レイクランドへ向かいました。

8月9日の夜に、レイクランドに到着しました。最初は不安ばかりだったのですが、ホストファミリーはそんな私を温かく迎えてくれました。家族構成は、父親の Stoney さん、母親の Carolina さん、そして、Jesse、Delia の兄妹の4人でした。皆さん会った時から笑顔で接してくれたので緊張もほぐれました。一緒に夕食を済ませた後、ホストファミリーの家へと向かいました。家には、さまざまな家具があり、一つ一つにこだわりがあるのが感じられ、見ているだけで、心が晴れやかになる、そんな家でした。いろいろと話したいこともあったのですが、夜遅くだったので、楽しみは後日にして、その日は床に就きました。

8月10日は、「ホストファミリーデー」だったので、ホストファミリーと、ペイントボールという野外スポーツを楽しみました。ペイントボールとは、ブドウサイズの、当たっても大丈夫な銃弾をつかってお互いを撃ち合うゲームです。私と Jesse、そして Jesse の友人の Justice の3人でゲームしました。このペイントボールというゲームは、相手の動きを予測して動いたり、とっさに狙ったりと、とても難しいゲームでした。また、ペイント弾は当たっても大丈夫とはいえ、当たればそれなりに痛いので困りました。しかし、時が経つのも忘れるほどに、楽しい時間を過ごすことができました。また、Jesse と Justice とは言葉の壁を越えて友情を深めることができ、決して忘れることのできない1日となりました。

8月11日には歓迎パーティーがありました。その中で私は、得意な剣道を披露しました。短時間の演技にも関わらず、皆さんがとても喜んで下さったのはとても嬉しかったです。こういった取り組みが人と人、そして町と町を結んでいくのだということを実感することができました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、日本に帰らなければいけない日が来ました。2週間の間、本当の子どものように温かく迎えてくれたホストファミリーとの別れは、とても辛かったです。家族のみんなが家を出る前にたくさんのお土産を持たせてくれました。中でもお母さんがくれたアルパカの毛で作られたマットはとても温かく、嬉しかったです。しかし、一番温かかったのは最後の最後まで家族のように接してくれたホストファミリーの皆さんの優しさでした。私は、なんとか涙をこらえて別れを告げることができましたが、今でも思い出すと涙がこぼれそうになります。

今回、この海外派遣事業で折り紙や剣道など日本の文化を、少しではありますが、伝えることができたのではないかと考えています。残念だったのは自分に英語力がなく、言いたいことがなかなか伝わらなかったことです。これほど、英語を勉強しておけばよかったと思ったことはこれまでにありませんでした。今後は、この経験を生かし、伝えたいことがきちんと伝えられる英語力を身につけたいと思います。そして、再びホストファミリーを訪ねて、今回話せなかったことをたくさん話してきたいと思います。

最後に、今治市役所および、今治市国際交流協会の皆様、Lakeland Sister Cities International の皆様、今回の海外派遣に携わった関係者様、そしてホストファミリーにとっても感謝しています。この経験が無駄になることがないように、今後精進していきます。本当にありがとうございました。



Homestay in Lakeland

Akihiro Miyatake

I joined the trip to Lakeland for the first time. Although I have been interested in this kind of program, I had always missed a chance to go. When I saw the recruitment of the trip on the school billboard, I instantly decided to apply for it. I left for Lakeland with the hope of improving my English and interacting with people in Lakeland.

On the ninth of August, we arrived in Lakeland late at night, and I met my host family. There were four people: the father, Stoney; mother, Carolina; Jesse and Delia, their son and daughter. They welcomed me with smiles. Since I was very nervous, their smiles helped me relax. After we had dinner together, they took me home. Their house was not only beautiful with a lot of distinctive furniture, but also cozy. Although I wanted to talk with them more, it was too late so we decided to go to bed to be ready for the next day.

The tenth of August was the host family day. I played “paint ball” with Jesse and his friend, Justice. Paint ball is a game where people shoot each other with a soft bullet. The game was fun but difficult because you have to predict your opponents’ movement and move quickly. Also, although the bullets are soft, when they hit you, they are quite painful. Anyway, I had a lot of fun and we made good friends despite the language obstacles. That was the one of the best memories in Lakeland.

There was a welcome party on the eleventh of August, where I demonstrated kendo in front of the Lakeland people. I was very happy that they liked my performance. I felt this kind of interaction could unite people in different cities.

The time passed so quickly and finally the day came for us to go back. Parting with my host family was really sad since they treated me as if I were their real family. They gave me a lot of souvenirs. Carolina gave me a rug that was made of alpaca hair. I like it very much because it feels so warm, but the kindness of the family felt much warmer to me. I barely held back my tears when I said good bye to them. Even now, when I think of the parting time, I get tearful.

I think I was able to show some Japanese culture to the Lakeland people by introducing origami, kendo and other things. However, I’m sorry that I could not make myself understood. I deeply regretted that I hadn’t studied English seriously. After coming back, I decided to study English hard. I hope I can speak English well and visit my host family again in the future and talk with them in English.

Lastly, I would like to thank all the people involved, especially Imabari City, Imabari City International Exchange Association, and my host family. I will try my best, making much use of my experiences on this trip. Thank you very much.



楽しかった Lakeland

菅 美菜恵

今回の親善訪問団員に選ばれ、不安と期待でいっぱいでした。英語は好きでも決して得意とは言えなかったので、正直なところ不安のほうが大きかったです。しかし、その不安も Lakeland での素晴らしい体験の中で自然と消えていきました。

現地で私を温かく迎え入れてくれたのは、Fitzssimmons family、お父さんの Kevin、お母さんの Wendy、1つ年上の Sadie、弟の Ashton そして犬の Bridgette と Lady でした。家族は、いつも笑顔で明るく接してくれました。私は絵を描くのが好きなのでホストへのお土産の1つにみんなの似顔絵を描いて持って行きました。すると、みんなとても喜んでくれ、Ashton の似顔絵は Facebook にも載せてくれました。そうして始まった Lakeland での生活はすべて楽しいことばかりでしたが、特に思い出に残ったのはビーチに行ったこと、大リーグ観戦、お好み焼き作りです。

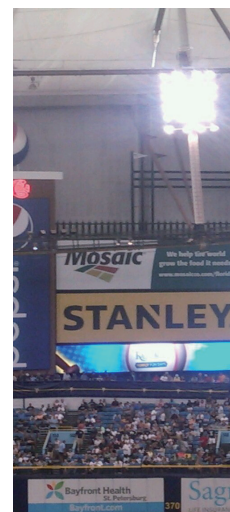
まず「ホストファミリーデー」で海に泳ぎに行ったビーチ。胸躍らせてビーチを目指したのですが、到着したとたん、雲行きがあやしくなってきました……。他のホストファミリーも来る予定だったので到着を待っていると、遠くの方から雷鳴が近づいてきました。ついにはライフセーバーにも止められ、このままでは泳げないということで、急遽昼食になりました。各ホストファミリーが持ち寄ったサンドウィッチやサラダをピュッフェ形式でとりました。特にミートボールがおいしかったです。幸いその後、天気は回復し、終日楽しく泳ぐことができました。帰りの車の中では爆睡してしまったようで、まったく覚えていません。

次に大リーグ観戦。大リーグ観戦では、直前に対戦相手がヤンキースに変わって皆大興奮でした。球場に到着した時には、既に試合は3回表まで進んでいて、何ともアメリカ人の時間の感覚は日本人比べておおらかだとみんなで笑いました。スタジアムでは、私は目の前の大リーグ選手もそこそこに、夢中でアイスを食べていたところ、最後の最後で「イチロー」が登場！みんなで「イチロー来たあ！」と叫びながら写真を撮りまくっていました。あと2打席く

らいでイチローの打順というところだったのですが、残念ながらそこでゲームセット。少し不完全燃焼でしたが、とてもいい思い出になりました。

お好み焼き作りは、以前からの私の希望で実現しました。ぜひホストファミリーに日本の味を食べてもらいたかったのです。そのためにいくつかのスーパーに連れて行ってもらいました。そこで、辞書やスマートフォンの翻訳アプリを使い Kevin に手伝ってもらい何とか材料を買いそろえることができました。会計の際には Kevin が支払ってくれ、感謝でいっぱいです。家に帰ったらすぐに料理にとりかかりました。Wendy が調理器具の場所や使い方など全部教えてくれてスムーズに作り始めることができました。ところが、調理にかなり時間がかかり、17時前に作り始めたのに、全員分が完成したのは19時前。2時間も待たせてしまったのが申し訳なかったです。Kevin は、その時ランニングに出かけていたので4人で食卓に着きました。さあ、今から食べようとした時に、なんと、Sadie がシーフードが苦手だと判明。ポークだけは何とか食べてくれてホッとしました。そして、野菜嫌いの Ashton が見事なまでにキャベツだけをのけて食べていたので、思わず笑ってしまいました。Wendy が「Sorry」と苦笑いしてきましたが、それに上手く言葉で返すことができませんでした。次は、二人ともが食べられるような甘いお菓子を作ってあげたいと思いました。

私にとってこの2週間に渡る初めての海外生活はとても充実した、本当にかげがえのないものになりました。勉強不足でホストファミリーの言葉が聞き取れなかったり、意味が分からなかったりとあまり会話ができなかったのが、それだけが心残りです。これから、もっと英語を勉強していつかまたみんなで Lakeland に遊びに行きたいです。今回お世話になった方々に深く感謝し、これからの自分につなげていきたいと思います。みなさん、ありがとうございました。I love Lakeland!



Fun visit in Lakeland

Minae Kan

When I was chosen as a member for the trip to Lakeland, I was full of expectations and anxiety. Although I like English, I am not good at using it so I was rather worried about going to America. However, my worries disappeared as I experienced many wonderful things in Lakeland.

My host family, the Fitzsimmons, gave me a hearty welcome. The family included my host father and mother, Kevin and Wendy, and a boy and girl named Ashton and Sadie. They also had two dogs, Bridgette and Lady. The whole family was cheerful and always had a smile for me. Since I like drawing, I brought them their portraits as souvenirs. They liked them so much that Ashton even put up his portrait on Facebook. I had a great time with them and have a lot of nice memories. Among them, going to a beach, watching a major league baseball game, and making Japanese pancakes were the most interesting events.

On a family day, as soon as we got to the beach, the sky suddenly became threatening and thunder began to roll. A life guard came to tell us that we should not go into the water. While we were waiting for the storm to pass, we had a picnic lunch with other families. There was a lot of food such as sandwiches, salad, meatballs, and so on. I liked the meatballs best. Luckily, the weather improved after lunch and we swam in the ocean and had a good time. On the way home, I was so tired that I fell asleep in the car and I don't remember anything until I got home.

One day we watched a ball game. When we reached the stadium, the game was already in the third inning. However, we were all excited to know that the opposing team had been

changed from the scheduled team to the Yankees without notice. I enjoyed eating ice cream while watching the major leaguers. Then Ichiro appeared at bat. We got so excited, shouting "Ichiro is up!" and took a lot of photos of him. Although the game ended before Ichiro came to the plate again, I had a really good time.

I was looking forward to making Japanese pancakes for my host family. I asked them to take me to a supermarket and bought the necessary ingredients with Kevin's help and my smartphone's translation app. I am grateful that Kevin paid for everything. Once we came back home at 17:00, I started to make pancakes with Wendy's help, and it took two hours to finish. I was sorry that I made them wait so long to eat. When I finished cooking at 19:00, Kevin was out for a run so the four of us sat at the table. The moment we started to eat, I learned Sadie didn't like seafood and Ashton didn't care for cabbage. Wendy apologized to me, saying "Sorry!" with a bitter smile. I just smiled back at her because I didn't know what to say. If there is a next time, I want to make sweets for them.

My first experience overseas, a two-week-stay in Lakeland, is so precious to me. I regret that my English was not good enough to communicate better with my host family. From now on I want to study English hard and go back to Lakeland with my other Japanese friends from this trip. I deeply appreciate all the people involved in making my trip happen. I will do my best to grow spiritually. I love Lakeland!



最高の思い出

馬越 望

今回、レイクランド市への訪問に参加できたことを大変うれしく思っています。以前から外国の文化や習慣に興味があり、機会があればぜひ行ってみたいと思っていましたので、姉妹都市のレイクランド訪問のことを聞いてすぐに応募しました。

レイクランドへ行く飛行機の中で、私はホストファミリーに会える期待と不安でいっぱいでした。オーランド空港へ到着すると、ホストファミリーが迎えに来てくださっていました。私のホストファミリーはパーマー家で、父のトム、母のリズとアリソン、ヘイリー、アンズリーの3姉妹でした。アリソンは大学生ということもあり、2回しか会うことができませんでした。短い時間でしたが、優しく接してくださり、楽しい時間を過ごすことができました。

レイクランドで過ごした日々はとても充実していて楽しかったです。その中でも特に印象に残っていることは、ホストファミリーデーと学校訪問、そして最終日の送別会です。ホストファミリーデーは初日にありました。朝、教会へ行きました。お祈りをするために教会へ行くのは初めてでとても新鮮でした。約1時間の牧師さんによる説教の後、歌とお祈りがありました。お祈りの仕方はホストの方が教えてくださいました。家に戻って、DVD鑑賞をしました。一緒に過ごす時間が長かったので一気に距離が縮まった感じがします。また、好きな歌手が同じだったので、話が盛り上がりました。私が日本からもってきた浴衣と甚平をあげると喜んで着てくれたので本当にうれしかったです。

学校訪問では、セントジョセフアカデミーへ行きました。その学校で母親のリズが体育の先生をしていて、学校の制服をいただくことができました。とてもうれしかったです。私は、小学生と中学生の授業を訪問しました。小学生には折り紙を教えました。折り方を伝えるのはとても難しかったです。ジェスチャーなどを使って伝えると皆理解し

てくれました。覚えが早くて驚きました。日本語の「ありがとう」を教えるとずっと連呼していました。とてもかわいかったです。中学生には漢字当てゲームをしました。ヒントを出したりしながら楽しくゲームをすることができました。中学生ですが、みんな本当に大人っぽくて驚きました。訪問後、家に戻って私はカレーを作りました。作るまで失敗しないかととても不安でしたが、失敗することなく作り終わりました。皆がおいしいと言ってくれたときはうれしかったです。夕食後、散歩に出かけました。レイクランドは自然が豊かできれいな場所だと思います。見るもの全てがきれいで終始感動していました。

最終日はランファア邸で送別会がありました。プールで泳いだり、湖で色々なことをして遊びました。とても楽しかったけれど、別れが近づいていると思うと、寂しくなってきました。泣かないと決めていましたが、涙があふれてきました。ホストの方が優しくハグをしてくれました。ホストの方には感謝の気持ちでいっぱいです。夜遅くなっても迎えに来てくださったり、いつも笑顔で私が理解できるように話しかけてくださったり、アメリカの手遊びを教えてくださいだったり、一緒にお買い物に行ったり、たくさんの素敵な思い出ができました。パーマー家の人たちと過ごした10日間は一生忘れられない思い出です。

今回の訪問で得たものは大きかったです。初めての外国ということもあり、全てが新鮮に感じました。この訪問を通して、より一層英語の勉強を頑張りたいと思いました。もっと英語を勉強して、またレイクランドへ行きたいと思います。今回出会った全ての人に感謝の気持ちを伝えたいです。私を受け入れてくださったパーマー家のみなさん、団長の豊嶋さん、柳原さん、笹間さん、そして訪問団の皆さん、本当にありがとうございました。最高の思い出ができました。レイクランド大好きです！



The best memory

Nozomi Umakoshi

I am grateful that I was able to participate in this visit to Lakeland. I applied for the program immediately after I heard about it since I was always interested in foreign cultures and customs, and I had always wanted to go abroad.

During the flight to Lakeland, I was full of excitement to see my host family, but I was also worried. When we landed at the Lakeland airport, I found that my host family had come to pick me up. My host family was the Palmers: the father Tom; the mother Liz; and the three girls—Alison, Haley, and Ansley. I was only able to see Alison twice because she was an university student. I spent little time with her, but she was very nice to me, and I had a good time.

I had a very satisfying time in Lakeland. I especially enjoyed the day with my host family, the school visits, and the farewell party on the very last day. The day with the host family was on the first day. We went to church in the morning. It was my first time to go to a church to pray, so it was interesting. After an hour-long speech by the priest, we sang and prayed. My host family taught me how to pray. Later, we went back home and watched a DVD. Since we spent a lot of time together, we quickly got close to each other. We also talked about my favorite singer. It seems they love the same singer, too. I was happy to see them trying on a Yukata and Jinbei. I was glad that they liked them.

One of the schools we visited was St. Joseph Academy. My host mother Liz worked there as a P.E teacher, and she gave me their uniform. I was very happy to receive it. I visited some elementary school and junior high school classes. I taught the elementary school students how to do origami. It was difficult to teach. They all understood me when I explained with some gestures. I was surprised at how

quickly they learned. They kept saying “Arigato” after I taught them the word. They were so adorable. We played a kanji game with the junior high school students. We had fun playing the game while I gave them some hints. It surprised me how mature they were for junior high school students. After the visit, I went back to my host family and made curry and rice. I was worried if I would be able to make it correctly or not, but I managed to do it without failing. When everyone said it was delicious, I was really happy. We went on a walk after dinner. I think Lakeland is very beautiful and full of nature. I was very impressed by its beauty all the time.

On the last day, there was a farewell party at Lanfers. We swam in the pool and did a lot of things in the lake. It was fun, but when I thought about how I would be leaving soon, I got sad. I had decided not to cry, but my eyes started tearing up anyway. My host family gently gave me a hug. I was full of gratitude for my host family. They came to pick me up. They talked to me nicely with smiles so that I could understand them. They taught me the hand motions that go along with certain songs. They took me shopping. They made many wonderful memories for me. I will never be able to forget my 10 days with Palmers.

Everything that I learned in this program was spectacular. It was all new to me because it was my first time abroad. Because of this program, I started to want to study English even more. I want to go back to Lakeland after I do that, too. I would like to thank everyone who I met in this program: my host family, the Palmers, who welcomed me to their house; Mr. Toyoshima; Ms. Yanagihara; Ms Sasama; and everyone in the program. Thank you so much for everything. Thank you for the best experience! I love Lakeland.



最高の10日間

村上 智奈実

今回は私にとって初めての海外派遣でした。実際にアメリカに行くことで、日本の環境や文化などとの違いに触れたいと思い、応募しました。いざ行くことが決まった時、素直にうれしいと思う反面、不安でいっぱいになりました。自分の思いが伝えられるか、一緒に行く仲間と仲良くできるのか、とても心配でした。しかし、そのような気持ちはすぐに晴れました。

初めてホストファミリーと会った時、笑顔で大歓迎してくれました。緊張してなかなか自分から話せない私を見て「1人ではないから、心配しなくてもいいよ。」と優しく私の肩を包み込んでくれた時、やっと家族の一員になれたと感じました。それから、ネイティブの英語に戸惑いながらも少しずつ会話を増やしていきました。私のホストファミリーは父のコリン、母の舞、そして犬のアニーとハナ、猫のムーとティリアンで、想像もつかないほどの充実した10日間を過ごすことができました。

1日目は、ホストファミリーデーでした。朝食の後、私はお土産を渡しました。扇子や箸、日本語の入ったタペストリー、バリィさんのぬいぐるみなどを渡した時、写真を撮ったりしてとても喜んでくれました。タペストリーはすぐに壁に飾ってくれました。その後、書道を披露しました。そして家族みんなの名前を書きました。それから2人にも挑戦してもらいました。とても楽しそうで自然と自分も笑顔になれました。その後、ショッピングに行きました。ランチのデザートにチーズケーキを食べました。その大きさに大変驚いた顔をしている私を見て大笑いしていました。

また、ホストファーザーと行ったナイトフェスティバルがとても心に残っています。私はその賑やかな雰囲気に圧倒されました。この時は、ホストファーザーに積極的に話しかけることができました。初めて食べた empanada がすごくおいしかったです。

6日目の夜、次の日のビーチを楽しみにしていたのですが、体調を崩してしまいました。我慢しきれず、ホストマ

ザーに言って体温を測ると熱が出ていました。しかし、看病してくださったおかげで海に行けることになって本当によかったです。

現地の子どもたちとの交流も、私にとって印象深い経験になりました。折り紙で鶴やかぶと、飛行機などの作り方を教えました。子供達が興味津々だったので自分なりにわかりやすく教えようと思いました。完成した時の無邪気な笑顔は忘れられません。高学年の子どもとは漢字を書いて当ててもらうゲームをしました。真剣に形から想像していました。

一番印象に残っているのは、最終日の送別会です。初めて水上バイクに乗せてもらいました。新しくできた友達と一緒に水に落ちないように叫びながらしがみついていた。また、クルージングも楽しみました。その際、ワニの目を間近で見ることができました。長い時間、レイクランドの景色を見ているとだんだん悲しくなってきました。送別会の終わりに、他のホストの方々にもサンキューカードを渡しました。今度は私の家に泊まりに来てと言ってくれてうれしかったです。また行動を共にした Alex や Lilly などが泣いてギュッと抱きしめてくれました。家に帰ってくるとホストファミリーの2人からフォトブックを頂きました。中にはこの10日間の思い出の写真に、その説明のフレーズが添えられて収められていました。これは、私の一生の宝物です。Claypool 家、レイクランドの友達との別れが辛かったです。ホストマザーが優しい笑顔でギュッと抱きしめて見送ってくれました。

今回のレイクランド市訪問は貴重な経験となりました。英語をもっと勉強して、自分の伝えたいことがすぐに言えるようになりたいと思いました。また会える日が来ることを楽しみにしています。ホストファミリー、国際交流協会の方々、家族、先生、本当にありがとうございます。この経験を今後の生活に生かしていきたいと思います。



10 Amazing Days

Chinami Murakami

It was my first trip abroad. I applied for this program because I wanted to experience an environment and culture that is different from ours in Japan through actually seeing it first hand. Once I was accepted, I was simply happy, but at the same time I was very anxious, too. I wondered and was very worried about if I would be able to make myself understood over there, and if I would be able to get along with the other members. However, such feelings went away before long.

When I met my host family for the first time, they welcomed me with big smiles. When I could not talk to them because I was so nervous, they told me, "You aren't alone, so don't worry," and one of them gently wrapped their arm around my shoulders. That made me feel at home. Later, I gradually started to have more conversations with them even though I had some difficulties understanding the native speakers' English. I had an unimaginably fun and satisfying 10 days with my host family: father Colin, mother Mai, their dogs Annie and Hanna, and their cats Moo and Tilian.

The first day was Host Family Day. After the breakfast, they took some pictures as I gave them some souvenirs (fans, chopsticks, a Japanese tapestry, and a doll of Bari-san). I am glad they liked the presents. They put the tapestry up on the wall right after. I showed them my calligraphy. I wrote all the names of the family members. After I showed them how, they tried calligraphy, too. They seemed to be having fun, and that made me smile. Then we went shopping. I had some cheesecake for desert after my lunch. They were laughing because I was very surprised to see such a huge cake.

One of the things that was very impressive to me was the night festival I went to with my host family. I was little overwhelmed by the number of people and the atmosphere, but I was able to talk with my host father more. I had the food "empanada" for the first time, and it was really delicious.

On the night of the sixth day, I was looking forward to the next day's beach trip, but I fell ill. I was feeling too sick, so I

asked my host mother. She took my temperature, and I had a fever. However, thanks to their care, I was able to go to the beach, and I was very happy about that.

Meeting the local children was a good experience for me. I taught them how to make cranes, a Japanese helmet, and an airplane with origami. I tried my best to teach them as well as possible since they were very interested in it. I will never be able to forget their smiles when they made their own origami. As for the older children, we played a game where I wrote Kanji and they had to guess its definition. They tried very hard to imagine the meaning from the shape of the character.

Another really incredible event was the farewell party on the last day. I tried riding a jet ski. I was holding on to it and shouting with my new friend so that we wouldn't get thrown off. We also enjoyed the cruising. I could see the eyes of a crocodile from the boat. I started feeling sad looking at the scenery of Lakeland for a long time. At the end of the party, I gave a thank you card to my host family as well as all the other families in the program. "Come and stay at my house next time!" they said, and I was happy that I had been invited by the other host families. Alex and Lilly, who I spent a lot of time with, cried and gave me a hug. When I got back to my host family's home, my host parents gave me a photo book. There were pictures of the 10 days with some explanations of the pictures attached. I will treasure that present for the rest of my life. It was hard to say goodbye to the Claypool family and my new friends in Lakeland. My host mother held me tight and saw me off with a smile.

My visit to Lakeland city was a precious experience. It made me want to study English more and communicate more fluently. I am looking forward to seeing them again. I would like to thank my host family, the people in the Imabari City International Exchange Association, my family in Japan, and my teachers. I would like to make full use of this experience for the rest of my life.



姉妹都市（レイクランド市）訪問 2014

＜今治訪問団 名簿＞

団 長	豊嶋 康二	男	今治市納税課主事
引率者	笹間 佐和子	女	今治市国際交流協会職員
	柳原 美智恵	女	今治市国際交流協会ボランティアスタッフ

団 員

1	矢野 美貴子	女	今治西高等学校	2 年
2	楠橋 美里	女	今治西高等学校	1 年
3	横田 菜歩	女	今治北高等学校	2 年
4	山田 茜	女	今治北高等学校	1 年
5	藤本 吉乃	女	今治東中等教育学校	4 年
6	徳永 鈴	女	今治東中等教育学校	4 年
7	楠本 博基	男	今治明德高等学校	1 年
8	加藤 大知	男	今治明德高等学校 矢田分校	2 年
9	宮武 明弘	男	今治精華高等学校	3 年
10	菅 美菜恵	女	今治精華高等学校	2 年
11	馬越 望	女	伯方高等学校	3 年
12	村上 智奈実	女	伯方高等学校	3 年



LPD News Blog On August 11, 2014

Sister city from, Imabari, Japan visited LPD



Lakeland Sister Cities International (LSCI), a chapter of Sister Cities International, was formed in 1990 with a relationship with Richmond Hill, Canada. Subsequently, relationships have been established with Imabari, Balti, Chongming and Portmore. These cities were chosen through direct ties with Lakeland citizens, the interests and commitment by a core group of individuals from both cities and the rich mutual interests of both cities for cultural exchanges.

Today our sister city from, Imabari, Japan visited the Lakeland Police Department. High school students travel to each other's cities in alternate years learning language and living each other's culture while building lifelong friendships. Imabari has gifted our art museum with pieces from their collections, has written a bilingual tabloid, and grows as we do through our rich relationship. As part of their cultural and educational experience, we gave them a tour of the police department and a K-9 demonstration.

全米姉妹都市委員会支部・レイクランド姉妹都市委員会は、カナダのリッチモンドヒル市との結びつきをきっかけに 1990 年に設立されました。それ以降、続いて今治市、バルティ市、チョンミン市、ポートモア市と、姉妹都市が結ばれました。これらの都市は、両市の核となる市民グループの関心と献身、双方の文化交流に対する強い興味から、市民レベルの直接交流を通して選ばれました。

本日、日本の姉妹都市、今治市からレイクランド警察署への訪問がありました。隔年で高校生の両市相互訪問が行われていて、お互いの言語を学び、文化に触れることで生涯続く友情が育まれています。

今治市からレイクランドの美術館に収集品が寄贈されています。また今治市のパイリンガル情報誌 (i-News) にも交流記事が掲載され、豊かな関係が築かれています。今回は文化・教育を経験してもらうため警察署内の見学ツアーを開催し、K9 (警察犬) 実演を披露しました。

レイクランド警察のブログより転載 (2014 年 8 月 11 日掲載)

POINTS OF INTEREST

- 1 ANTIQUE DISTRICT
- 2 DOWNTOWN SHOPPING
- 3 MUNN PARK HISTORIC DISTRICT ARTS ON THE PARK
- 4 BARNETT PARK, HOLLIS GARDENS, LAKE MIRROR PARK
- 5 EXPLORATIONS V CHILDREN' S MUSEUM
- 6 CHAMBER OF COMMERCE (VISITOR INFORMATION CENTER)
- 7 PUBLIC LIBRARY
- 8 PORK MUSEUM OF ART
- 9 FLORIDA SOUTHERN COLLEGE
- 10 VETERANS PARK
- 11 HARRISON SCHOOL FOR THE ARTS
- 12 ST. JOSEPH' S ACADEMY
- 13 SANTAFE HIGH SCHOOL
- 14 LAKELAND SQUARE MALL
- 15 JOKER MARCHANT STADIUM
- 16 LAKESIDE VILLAGE
- 17 SOUTHEASTERN UNIVERSITY

Lakeland



平成 26 年度 学生海外派遣事業

姉妹都市（レイクランド市）親善訪問団報告書

平成 26 年 8 月 8 日～ 21 日



Imabari City International Exchange Association

今治市国際交流協会

編集・発行：今治市国際交流協会

Imabari City International Exchange Association

794-0028 今治市北宝来町 1-1-16

1-1-16 Kitahorai-cho, Imabari-shi

TEL/FAX:0898-34-5763 Email:info@iciea.jp URL: [http:// iciea.jp](http://iciea.jp)